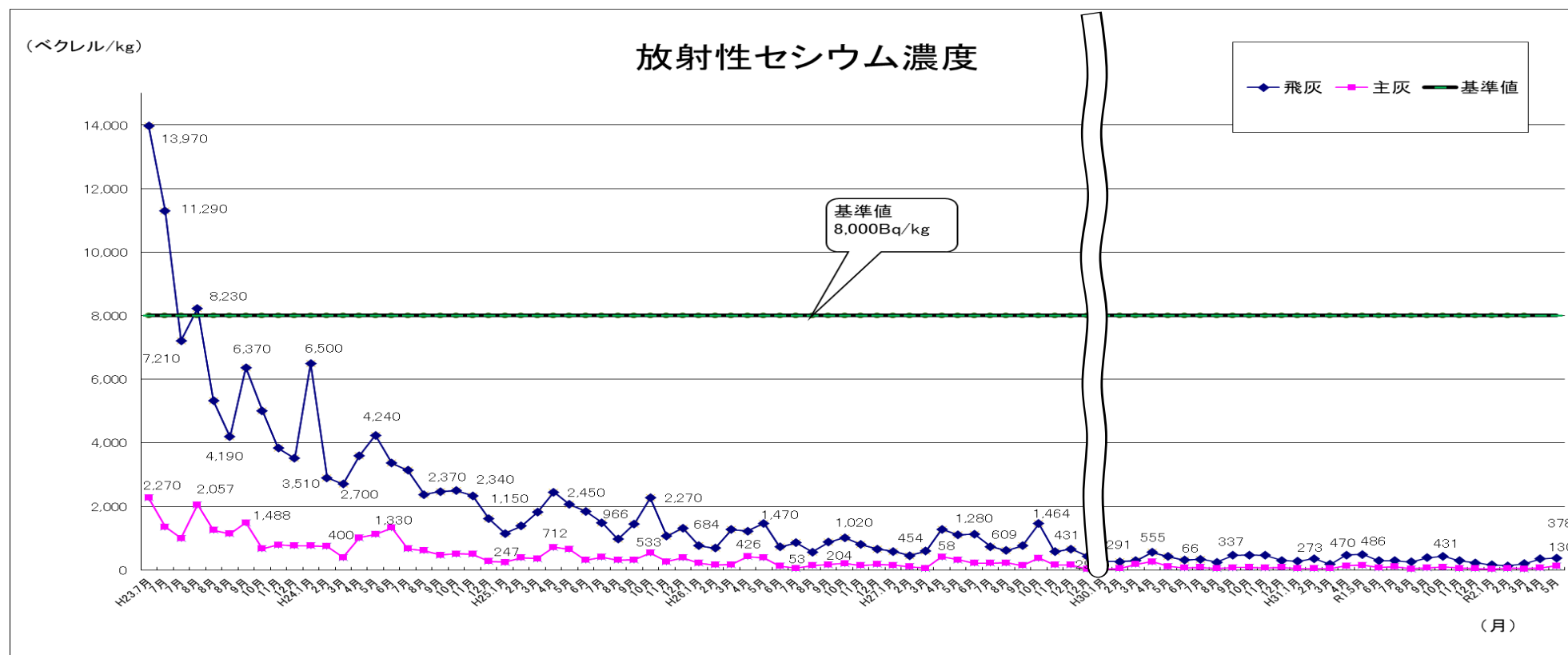


印西クリーンセンター放射性物質に関する報告

1 放射性物質の測定結果

放射性物質汚染対処特別措置法に基づき月1回測定しています。

- 焼却灰（主灰・飛灰）の放射性セシウムの測定結果（セシウム134と137の合計値）



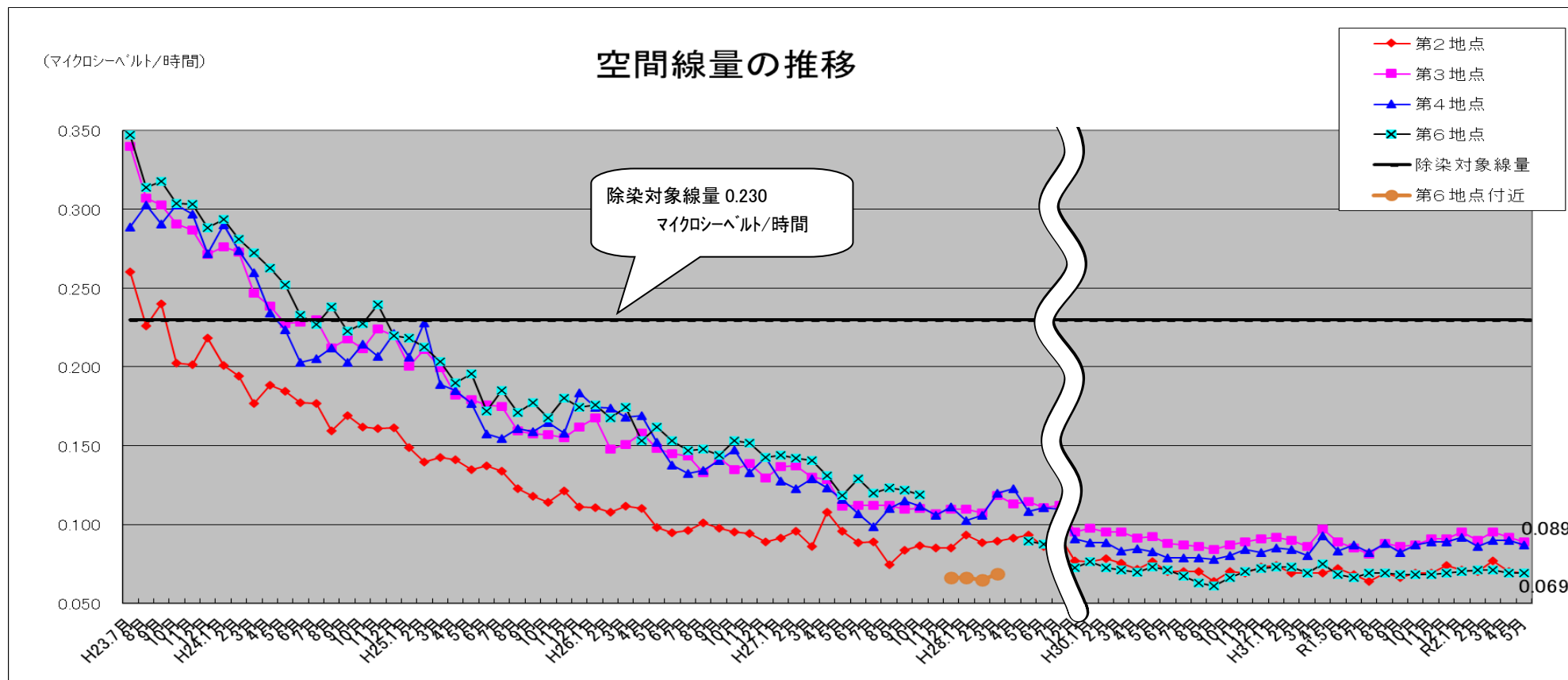
• 排ガス中の放射性セシウムの測定結果（セシウム 134 と 137 の合計値）

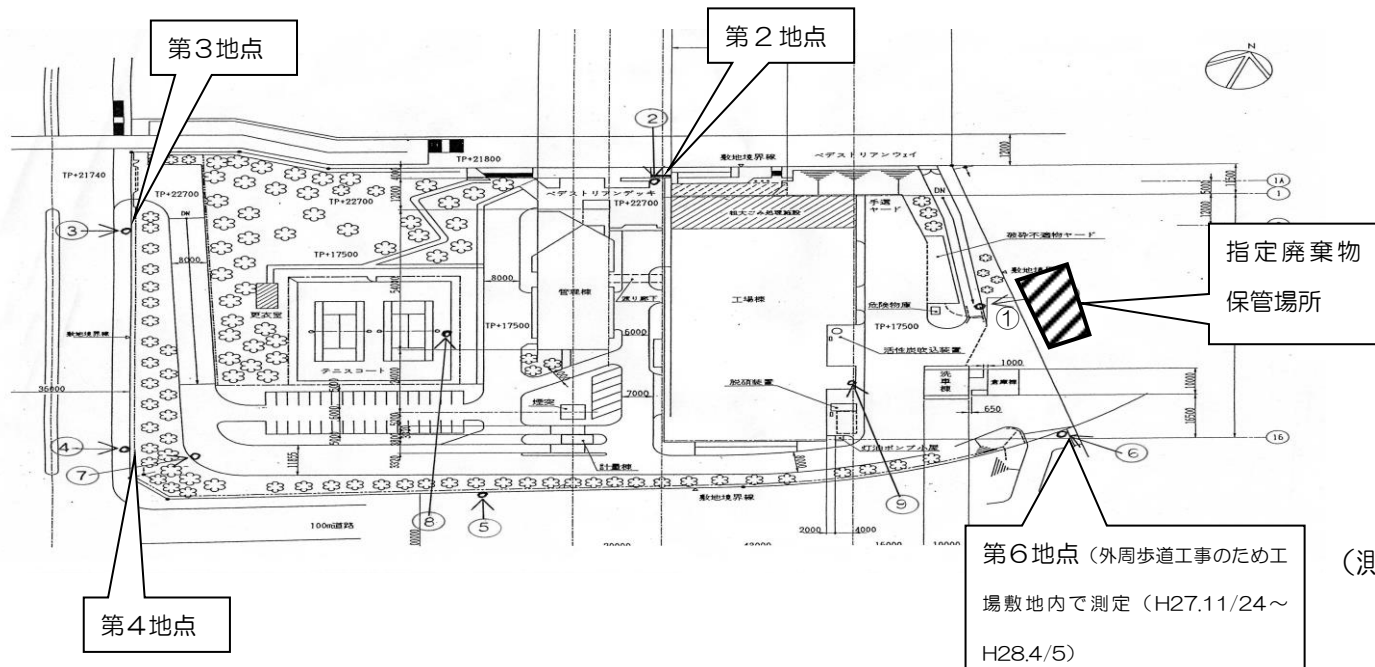
| 測定月 | 炉別 | 測定容器 | 分析の結果 | 検出下限値 |
|------------|-----|------|-------|-------------|
| 令和 2 年 5 月 | 2号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 2（134又は137） |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |
| | 3号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 同上 |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |
| 令和 2 年 4 月 | 1号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 同上 |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |
| | 3号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 同上 |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |
| 令和 2 年 3 月 | 2号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 同上 |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |
| 令和 2 年 2 月 | 3号炉 | ろ紙部 | 不検出 | 同上 |
| | | ドレン部 | 不検出 | 同上 |

2 空間線量の推移

印西クリーンセンター敷地内及び敷地境界の9地点で週1回測定しています。

- 敷地境界4地点の空間線量月平均值（地上高 100cm）





※指定廃棄物（飛灰）の保管状況について
 基準値（8,000Bq/kg）を超えた飛灰（平成23年7月、8月発生の指定廃棄物）は130tあり、今年度ドラム缶（252缶）をフレコンバックに梱包し、既存のフレコンバッグ（120袋）と一緒に、一時保管しています。この指定廃棄物は国が処分するものです。

（測定位置図）

3 焼却灰の処理状況

放射性物質の測定結果により、基準値（8,000Bq/kg）以下を確認し、印西地区一般廃棄物最終処分場へ埋立処分しています。

（令和元年度：3月末現在）

| 令和元年度計画処理量 | 埋立量 |
|-------------|--|
| 5,467 t / 年 | <ul style="list-style-type: none"> • 4月 403 t 8月 366 t 12月 561 t • 5月 558 t 9月 425 t 1月 533 t • 6月 534 t 10月 552 t 2月 436 t • 7月 554 t 11月 414 t 3月 435 t 計 5,771 t <p>印西地区一般廃棄物最終処分場 埋立容量 402,200 m³ 埋立量 90,929 m³ 残余容量 311,271 m³ 埋立率 22.61%</p> |

（令和2年度：5月末現在）

| 令和2年度計画処理量 | 埋立量 |
|-------------|---|
| 5,467 t / 年 | <ul style="list-style-type: none"> • 4月 491 t • 5月 561 t 計 1,052 t |

白煙防止装置の運用停止の継続について

印西クリーンセンターでは、ごみの焼却から発生する熱を、発電、温水センター、地域冷暖房に有効活用していますが、場内で利用している蒸気の中には、煙突から発生する白煙をできるだけ見えなくするために再度加熱する装置（白煙防止装置）にも利用していました。

煙突からの発生する白煙は、焼却炉内及び排ガス処理装置で利用する水分が水蒸気となり、煙突出口部分が冷やされる寒い冬に、白く見える現象ですが、煙のような見え方であるため、この発生を抑制するため「白煙防止装置」があります。

しかし、エネルギー有効利用の面から印西クリーンセンターでは、「白煙防止装置」で利用している蒸気を発電や地域冷暖房に利用することを目的として、「白煙防止装置」の運用を停止してまいりました。

「白煙防止装置」を停止した場合の蒸気の節約量は、毎年約 6,000 トンから 7,000 トンの蒸気を節約し、発電や地域冷暖房に有効活用しています。

これらのことから、令和2年7月から令和3年6月末までの1年間「白煙防止装置」の運用停止を了承して頂きたく環境委員会に諮ります。

次期中間処理施設整備事業の進捗状況について

(1) 概略経緯

平成23年度（千葉ニュータウン9住区計画建設予定地の決定）

- 6月 管理者・副管理者会議にて、「千葉ニュータウン9住区」現泉野1丁目を建設予定地として決定する。

平成24年度（千葉ニュータウン9住区計画の撤回）

- 7月 印西市長選において現印西市長が当選
- 11月 印西市より印西地区環境整備事業組合に対して「千葉ニュータウン9住区計画」の白紙撤回の申し入れが行われた。
- 2月 「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」を設置する。

平成25年度（次期中間処理施設の用地を公募）

- 4月 「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」が用地選定の調査審議に着手する。
- 1月 募集期限を3月末として候補地の募集を開始する。
- 3月 候補地募集の結果、岩戸地区1箇所、草深地区1箇所、滝地区1箇所、武西地区2箇所及び吉田地区1箇所、計6箇所から応募申込書が提出される。

平成26年度（建設候補地の選定並びに建設候補地の地元区との基本協定の締結）

- 4月 「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」が応募のあった6箇所に現在地を加えた7箇所を候補地として比較評価に着手する。
- 5月 草深地区について、応募取下書が提出される。
- 6月 武西地区①について、応募取下書が提出される。
- 9月 「次期中間処理施設整備事業用地検討委員会」が候補地の比較評価に関する最終答申書を管理者へ提出する。
- 11月 建設候補地選定会議（管理者・副管理者会議）にて、吉田地区を建設候補地として選定する。
- 2月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会」を設置する。
- 2月 「次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会」を設置する。
- 3月 吉田地区の地元町内会である吉田区と組合が「次期中間処理施設整備事業の施行に関する基本協定書」を締結する。
(吉田地区を建設候補地として決定したことを確認し、両者の役割等を定める)

平成27年度（基本協定に基づき各検討委員会の設置）

- 5月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会」が施設整備基本計画に関する調査審議に着手する。
- 5月 「次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会」が地域振興策の基本構想等に関する調査審議に着手する。
- 3月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会」が施設整備基本計画（案）に関する答申書を管理者へ提出する。
- 3月 「次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会」が地域振興策の基本構想等（案）に関する答申書を管理者へ提出する。

平成28年度（施設整備基本計画及び地域振興策基本構想を策定、整備協定書の締結）

- 4月 各検討委員会の答申を受け「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画」と「次期中間処理施設整備事業地域振興策基本構想」を策定する。
- 6月 次期中間処理施設整備にあたって、吉田区との約束事をまとめる「次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書」の協議に着手する。
- 1月 「次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書」に対するパブリックコメントを募集する。
- 1月 「次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書」に係る説明会を開催する。
- 3月 吉田区と「次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書」を締結する。
(吉田地区を建設予定地として決定することのほか、地域振興策整備費用の上限など、事業推進に関する約束事を定める。)

平成29年度（施設整備基本計画追加策定及び地域振興策基本計画策定）

- 5月 「地域まるごとフィールドミュージアム事業（地域振興策）」が環境省の地域低炭素化モデル事業に採択される。
- 10月 建設予定地の用地測量及び地質調査が完了する。
- 2月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画追加策定（案）」及び「次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画（案）」に係る有識者懇話会（ヒアリング形式）を実施する。
- 3月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画追加策定（案）」及び「次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画（案）」に対するパブリックコメントを募集する。
- 3月 「次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画追加策定（案）」及び「次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画（案）」に係る説明会を開催する。
- 3月 アクセス道路の地質調査が完了、予備設計及び用地測量に着手する。
- 3月 「次期中間処理施設整備事業 施設整備基本計画」を追加策定する。
(平成28年度策定した施設整備基本計画に、環境影響評価における基礎条件を追加検討した計画)
「次期中間処理施設整備事業 地域振興策基本計画」を策定する。
(次期中間処理施設の周辺対策事業の基本的な計画として「吉田区のインフラ整備等」のほか、地域資源や排熱エネルギーを活用する「多目的な複合施設」を計画に位置付ける。)

平成30年度（建設予定地の買収等）

- 6月 建設予定地の買収に着手する。
- 11月 建設予定地の埋蔵文化財調査に着手する（令和2年度未完了予定）。
- 1月 建設予定地の買収が完了する。
- 1月 アクセス道路の用地物件補償調査、不動産鑑定に着手する。
- 3月 アクセス道路の用地物件補償調査、不動産鑑定が完了する。
- 3月 アクセス道路の予備設計、用地測量が完了する。
- 3月 吉田区と「次期中間処理施設整備事業の施行に関する整備協定書に係る覚書」を締結する。

令和元年度（施設整備事業総合支援業務の着手、地域振興策基本計画第1回変更の策定）

- 7月 次期中間処理施設整備事業総合支援業務（施設整備事業基本設計、建設工事発注支援、環境影響評価業務）に着手する（令和5年度未完了予定）。
- 7月 次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画一部変更策定業務に着手する。
- 3月 次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画第1回変更（案）に対するパブリックコメントを募集する。
- 3月 次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画一部変更策定業務が完了、同基本計画第1回変更を策定する。

令和2年度 次期中間処理施設整備事業のスケジュールについて

| 事業内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------------------------|----|-----------------|-------------|------------|--------------------|----|------------|-----|-----|----|----|----|
| 埋蔵文化財調査業務 | | | | | 整理・ 調査報告書 作成 | | | | | | | |
| 施設整備事業基本設計、 建設工事発注支援、環境 影響評価業務 | | | | | | | | | | | | |
| アクセス道路 | | | | | | | | | | | | |
| 設計業務 | | | | 関係機関 協議 | | | | | | | | |
| 水道事業 | | 整備協定・ 負担契約締結 | | | | | 基本設計(第1工区) | | | | | |
| 施設用地管理業務 | | | 草刈・木柵 設置 | | | | 草刈 | | | | | |

回答は文書で

Q01-環境省の指定廃棄物の件

(1)2020年2月21日に要望書を提出しているが進捗はあったか。

(2)2019年9月6日、組合ホームページに「指定廃棄物容器（ドラム缶）の梱包について」が掲載された。

(2-1)番号が記入されているフレコンバッグはドラム缶を梱包したものであるが、その上にあるものは何か？（赤い枠で囲った部分）

■ 指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について

指定廃棄物については、毎年、国の立入検査(保管状況等確認)を受け保管していますが、ドラム缶の腐食劣化を防止するため、ドラム缶をフレコンバッグで梱包し安全かつ適正に保管しています。

- 梱包したドラム缶数量 252本
- 実施時期 令和元年6月22日から9月2日まで
- 作業中の空間放射線量測定結果

《作業写真》



梱包前のドラム缶搬出作業



ドラム缶への梱包作業



保管場所への搬入作業



梱包後のドラム缶保管状況

注)保管容器のフレコンバッグ(120袋)は、劣化等がみられないため現状のまま保管します。

(2-2)2019年10月25日、組合ホームページに「指定廃棄物容器（ドラム缶）の梱包について作業中の空間放射線量測定結果（*補足追加）」として、ドラム缶2段積みの事実が掲載された。

C地点は「C地点（作業場所）については毎時計測をする。」との記載があり、7月13日で0.169、7月23日で0.218、8月3日で0.172、8月10日で0.118、8月17日で0.142と高い数値を示しているのはいかなる理由か？（測定位置や測定方法に問題はないのか？）

(2-3)「A・B地点については当日作業前と作業終了後に計測する。」と設定した理由は？

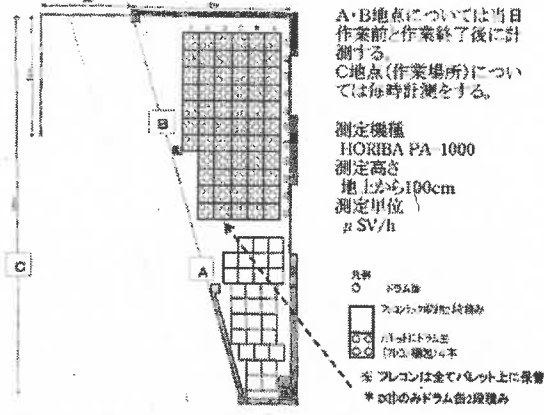
(2-4)A地点の測定結果は大きな変動が見られないが、B地点はより大きな変動がみられるのはいかなる理由か（測定位置や測定方法に問題はないのか？）

(3)ドラム缶の測定順序と結果を記載しないのはいかなる理由か？

空間放射線量測定結果

測定場所

測定廃棄物の保管状況



| 日付 | 時間 | A地点 | B地点 | C地点 | 備考 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|----|
| 6月22日 天気:晴 | 9:00 | 0.168 | 0.170 | 0.060 | |
| | 10:00 | - | - | 0.078 | |
| | 11:00 | - | - | 0.077 | |
| | 12:00 | - | - | 0.075 | |
| | 13:00 | - | - | 0.080 | |
| | 14:00 | - | - | 0.078 | |
| | 15:00 | - | - | 0.079 | |
| | 16:00 | - | - | 0.068 | |
| 6月29日 天気:晴 | 9:00 | 0.169 | 0.172 | 0.070 | |
| | 10:00 | 0.148 | 0.145 | 0.069 | |
| | 11:00 | - | - | 0.077 | |
| | 12:00 | - | - | 0.078 | |
| | 13:00 | - | - | 0.081 | |
| | 14:00 | - | - | 0.081 | |
| | 15:00 | - | - | 0.077 | |
| | 16:00 | - | - | 0.075 | |
| | 17:00 | - | - | 0.078 | |
| | 17:00 | 0.151 | 0.148 | 0.075 | |

| 日付 | 時間 | A地点 | B地点 | C地点 | 備考 |
|---------------|---------------|-------|-------|-------|-----------|
| 7月5日 天気:晴 | 9:00 | 0.170 | 0.169 | 0.070 | |
| | 10:00 | - | - | 0.075 | |
| | 11:00 | - | - | 0.077 | |
| | 12:00 | 0.109 | 0.158 | 0.074 | |
| 7月12日 天気:曇 | 9:00 | 0.179 | 0.147 | 0.088 | |
| | 10:00 | - | - | 0.169 | |
| | 11:00 | - | - | 0.154 | |
| 7月27日 天気:晴 | 12:00 | 0.179 | 0.155 | 0.077 | |
| | 9:00 | 0.185 | 0.168 | 0.060 | |
| | 10:00 | - | - | 0.218 | |
| | 11:00 | - | - | 0.181 | |
| | 12:00 | - | - | 0.116 | |
| | 13:00 | - | - | 0.119 | |
| | 14:00 | - | - | 0.122 | |
| 8月3日 天気:晴 | 15:00 | - | - | 0.130 | |
| | 16:00 | 0.192 | 0.170 | 0.075 | |
| | 9:00 | 0.163 | 0.203 | 0.080 | |
| | 10:00 | - | - | 0.165 | |
| | 11:00 | - | - | 0.172 | |
| | 12:00 | 0.134 | 0.141 | 0.084 | |
| | 9月10日 天気:晴 | 9:00 | 0.145 | 0.185 | 0.077 |
| 8月10日 天気:晴 | 10:00 | - | - | 0.118 | |
| | 11:00 | - | - | 0.106 | |
| | 12:00 | 0.142 | 0.141 | 0.082 | |
| 8月17日 天気:晴 | 9:00 | 0.167 | 0.162 | 0.086 | |
| | 10:00 | - | - | 0.133 | |
| | 11:00 | - | - | 0.142 | |
| 8月24日 天気:晴 | 12:00 | 0.167 | 0.165 | 0.079 | |
| | 9:00 | 0.146 | 0.192 | | |
| | 10:00 | - | - | | C地点梱包作業無し |
| 9月2日 天気:晴 | 11:00 | - | - | | |
| | 12:00 | 0.178 | 0.184 | | |
| | 16:30 | 0.175 | 0.142 | | 最終シート掛け |

Q02-一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録の件

組合ホームページでの更新が定期的に行われていないのはいかなる理由か。

Q03-7 令和元年度印西クリーンセンター操業実績及び公害防止協定に基づく環境報告書の件

- (1)測定データが添付されていないのはいかなる理由か。測定データは添付されていることは当然である。
(2)13 ページ(3)空間線量の測定位置図で、指定廃棄物保管場所が表記されていないのはいかなる理由か。

Q04-報告事項1 操業状況及び公害防止協定等に基づく環境測定結果についての件

- (1)13 ページの「表-8) 排ガス中の重金属測定(調査測定)」において、表の中に(カルシウム、銅、亜鉛については JIS K-0083 を準用した)という記載があるが、JIS K-0083 : 2017 ではカドミウム、鉛、ニッケル、マンガン、バナジウム、クロム、ベリリウム、ヒ素及びセレンを測定対象としているのみで、カルシウム、銅、亜鉛は測定対象としていないため、準用はありえない。正しい表記に修正されたい。

Q05-水銀の測定の件

- (1)水銀の定量下限は、「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～-日本環境測定分析協会」

(https://www.env.go.jp/air/suigin/new_paper2.pdf)に、ガス状水銀の定量下限の目安は0.11 マイクログラム、粒子状水銀の定量下限の目安は0.0011 マイクログラムと記載されている。

しかし、表-2) ①排出ガス測定に記載の定量下限値は0.24 マイクログラムで、目安を大きく超えている。

昨年度のガス状水銀の定量下限は5 マイクログラムで、問題外と思われる数値である。

いかな

【問12】

検出下限及び定量下限の目安を教えてください。

ものか？

下表のとおり、「水銀に関する水俣条約を踏まえた水銀大気排出対策の実施について(第一次答申)」の別紙「排ガス中の水銀測定方法」の参考3. 精度評価において記載されている検出下限及び定量下限を参考としてください。

表 ガス状水銀及び粒子状水銀の検出下限及び定量下限 (単位:µg/Nm³)

| | ガス状水銀 | 粒子状水銀 |
|------|-------|--------|
| 検出下限 | 0.03 | 0.0003 |
| 定量下限 | 0.11 | 0.0011 |

(2) 排出ガス中の水銀測定法（環境省告示第94号（平成28年9月26日）
（<http://www.env.go.jp/air/suigin/kokuji.pdf>））の第6 検出下限及び定量下限には「1 分析装置の検出下限及び定量下限」と「2 測定方法の検出下限及び定量下限」があり、測定の前提となる検出下限及び定量下限が規定されている。報告された結果はこれを満たした状態で測定されたものであることを当然確認しているのか。

Q06-環境委員会の会議録の作成が遅いのはいかなる理由か

環境委員会の会議録の作成が極めて遅い。遅い理由は？。明確に説明していただきたい。

Q07-令和2年度印西地区ごみ処理実施計画の件

令和2年度印西地区ごみ処理実施計画が配布されたが、組合ホームページには掲出されていないのはいかなる理由か。令和2年度印西地区ごみ処理実施計画の作成日はいつか。

Q08-一般廃棄物処理施設維持管理記録の件

一般廃棄物処理施設維持管理記録の平成31年4月分から令和2年3月分が配布されたのはいかなる理由か。

Q09-組合ホームページの印西クリーンセンターにおける放射線量・放射エネルギーの測定結果の件

- (1) 組合ホームページの印西クリーンセンターにおける放射線量・放射エネルギーの測定結果において、敷地境界における放射線量測定結果及び測定位置図に指定廃棄物保管場所を記入していただきたい。
- (2) 第1地点をグラフに追加していただきたい。（関連するグラフはすべて）
- (3) 測定器の較正はどのように行っているのか。較正の間隔は通常1年ごとであるが、正しいか。

Q10-資料4 次期中間処理施設整備事業の進捗状況の件

28 ページに3月 次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画一部変更策定業務が完了、同基本計画第1回変更を策定する。と記載されているが、正式に決定した計画を組合ホームページに掲出しないことはいかなる理由か。

○自治会側からの質問事項に対する回答書（令和2年度第1回環境委員会）

| 質問事項 | 回答 |
|--|--|
| <p>1 環境省の指定廃棄物の件</p> <p>(1) 2020年2月21日に要望書を提出しているが進捗はあったか。</p> <p>(2) 2019年9月6日、組合ホームページに「指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について」が掲載された。</p> <p>(2-1) 番号が記入されているフレコンバッグはドラム缶を梱包したものであるが、その上にあるものは何か。</p> <p>(2-2) 2019年10月25日、組合ホームページに「指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について作業中の空間放射線量測定結果(＊補足追加)」として、ドラム缶2段積み的事実が掲載された。</p> <p>C地点は「C地点(作業場所)について毎時計測をする。」との記載があり、7月13日で0.169、7月23日で0.218、8月3日で0.172、8月10日で0.118、8月17日で0.142と高い数値を示しているのはいかなる理由か。(測定位置や測定方法に問題はないのか。)</p> <p>(2-3) 「A・B地点については当日作業前と作業終了後に計測する。」と設定した理由は。</p> <p>(2-4) A地点の測定結果は大きな変動が見られないが、B地点はより大きな変動がみられるのはいかなる理由か。(測定位置や測定方法に問題はないのか。)</p> <p>(3) ドラム缶の測定順序と結果を記載しないのはいかなる理由か。</p> | <p>1 (1) 6月24日に柏市、印西市に確認したところ、環境省からの回答は無いということでした。</p> <p>(2-1) 指定廃棄物(ばいじん)を入れたフレコンバッグで、ドラム缶をフレコンバッグへ梱包する作業の前(当初)からドラム缶の上に置かれていたものになります。この資料は、ドラム缶を梱包する作業として、ドラム缶の保管状況を表記し作成したものに成りますので、ドラム缶の上のフレコンバッグについては記載してありません。D①以外のドラム缶4本の上には、フレコンバッグ1袋(計61袋)が置かれています。</p> <p>(2-2) 環境の変化により数値が変わることもありません。なお、測定方法はガイドラインを参考に実施しています。</p> <p>(2-3) 数値の変化を確認するために測定しています。</p> <p>(2-4) 環境の変化により数値が変わることもありまので、問題ないと考えています。</p> <p>(3) 前回の回答では空間放射線量の測定順番(A～C)であると間違いをしていました。ドラム缶の測定は実施しておりません。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>2 一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録の件 組合ホームページでの更新が定期的に行われていないのはいかなる理由か。</p> | <p>2 3月分の更新を見落としており、4月更新(5/25)分と合わせて行いました。更新が遅くなり申し訳ございませんでした。</p> |
| <p>3 令和元年度印西クリーンセンター操業実績及び公害防止協定に基づく環境報告書の件 (1)測定データが添付されていないのはいかなる理由か。測定データは添付されていることは当然である。 (2)13ページ (3)空間線量の測定位置図で、指定廃棄物保管場所が表記されていないのはいかなる理由か。</p> | <p>3 (1)事前配布資料の報告事項1「操業状況及び公害防止協定等に基づく環境測定結果について」の6～14ページに一年間の測定データを記載していますので、こちらを参照して下さい。 (2)特段深い理由はありません。今後は加えて表記します。</p> |
| <p>4 報告事項－1 操業状況及び公害防止協定等に基づく環境測定結果についての件 (1)13ページの「表-8)排ガス中の重金属測定(調査測定)」において、表の中に(カルシウム、銅、亜鉛については JIS K-0083 を準用した)という記載があるが、JIS K-0083:2017 ではカドミウム、鉛、ニッケル、マンガン、バナジウム、クロム、ベリリウム、ひ素及びセレンを測定対象としているのみで、カルシウム、銅、亜鉛は測定対象としていないため、準用はありえない。正しい表記に修正されたい。</p> | <p>4 (1) 排ガス中の金属分析方法「JIS K 0083」を用いて測定をしていることから、準用という表記をしていましたが、今後は「カルシウム、銅、亜鉛はJIS K 0083 を利用し測定」と修正します。</p> |
| <p>5 水銀の測定の件 (1)水銀の定量下限は、「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～日本環境測定分析協会」に、ガス状水銀の定量下限の目安は0.11 マイクログラム、粒子状水銀の定量下限の目安は0.0011 マイクログラムと記載されている。 しかし、表-2)①排出ガス測定に記載の定量下限値は0.24 マイクログラムで、目安を大きく超えている。 昨年度のガス状水銀の定量下限は5マイクログラムで、問題外と思われる数値である。いかなるものか。</p> | <p>5 (1) 測定事業者との契約では、水銀の定量下限は5 $\mu\text{g}/\text{N m}^3$となっており、より精度の高い数値(低い値)であれば良いとされています。昨年度の測定事業者は、定量下限が0.24 $\mu\text{g}/\text{N m}^3$であれば計量証明書として発行できるといことで報告を受けています。 ご質問の説明会資料では「検出下限及び定量下限の目安」の質問に対し、回答では「参考としてください」と記載されており、条件などにより違いがあるものと考えています。 定量下限には規定として定めは無いことから、排出基準値(50 $\mu\text{g}/\text{N m}^3$)に対して1/10の定量下限の設定は、一般的に用いられているものと測定事業者にも確認をしています。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>(2)排出ガス中の水銀測定法(環境省告示第94号(平成28年9月26日)の第6 検出下限及び定量下限)には「1 分析装置の検出下限及び定量下限」と「2 測定方法の検出下限及び定量下限」があり、測定の前提となる検出下限及び定量下限が規定されている。報告された結果はこれを満たした状態で測定されたものであることを当然確認しているのか。</p> | <p>(2) 計量証明書として提出を受けた測定記録を確認しています。分析装置や測定方法の検出下限及び定量下限については、排ガス中の水銀測定法として規定され、契約でも定めていますので、条件を満たしての提出になると考えられます。(7/6 実施していることを確認)</p> |
| <p>6 環境委員会の会議録の作成が遅いのはいかなる理由か。環境委員会の会議録の作成が極めて遅い。遅い理由は、明確に説明していただきたい。</p> | <p>6 議事録は住民側委員会までには完成してお届けしておりますが、各種事務が重なるなど開催日直前の配布になってしまい申し訳ありません。今後は資料配布時に併せて配布できるように努力したいと思います。</p> |
| <p>7 令和2年度印西地区ごみ処理実施計画の件 令和2年度印西地区ごみ処理実施計画が配布されたが、組合ホームページには掲出されていないのはいかなる理由か。 令和2年度印西地区ごみ処理実施計画の作成日はいつか。</p> | <p>7 実施計画は組合で数値を算出し、当該数値の是非を構成市町に意見照会し、その調整後、合意に至れば完成です。 但し今年度は新型コロナウイルス感染症防止の影響で、市町との協議が進められず調整に時間を要したことから、6月初旬に完成しました。 その後、組合ホームページに掲載しました。</p> |
| <p>8 一般廃棄物処理施設維持管理記録の件 一般廃棄物処理施設維持管理記録の平成31年4月分から令和2年3月分が配布されたのはいかなる理由か。</p> | <p>8 特段深い理由はありません。毎年、第1回の委員会にて希望者に配布していましたが、今回は開催がなかったことから全員に配布させていただきました。</p> |
| <p>9 組合ホームページの印西クリーンセンターにおける放射線量・放射線量の測定結果の件 (1)組合ホームページの印西クリーンセンターにおける放射線量・放射線量の測定結果において、敷地境界における放射線量測定結果及び測定位置図に指定廃棄物保管場所を記入していただきたい。 (2)第1地点をグラフに追加していただきたい。(関連するグラフはすべて)</p> | <p>9 (1)追加で表記しました。 (2)次回から第1地点を追加したいと思いますが、ほぼ横ばいの数値の折れ線を更に増やすことは、グラフ(配布資料の22ページ)が見づらくなくと考えることから、表記の仕方については検討させていただきます。</p> |

(3) 測定器の較正はどのようなに行っているのか。較正の間隔は通常1年ごとであるが、正しいか。

(3) 環境放射線モニタは、製造メーカー直轄の(株)堀場テクノサービスに年1回の校正作業を依頼しています。令和2年6月24日に校正頻度の是非を同社に問い合わせしたところ、年1回の校正作業で十分精度は守られるという回答でした。

10 資料4 次期中間処理施設整備事業の進捗状況の件
28ページに、3月 次期中間処理施設整備事業地域振興策基本計画一部変更策定業務が完了、同基本計画第1回変更を策定する。と記載されているが、正式に決定した計画を組合ホームページに掲載しないことはいかなる理由か。

10 地域振興策基本計画一部変更策定業務については、業務委託契約により実施しており、業務を完了しております。

同業務による計画変更策定の過程においては、令和2年3月にパブリックコメントを実施し、ご意見の提出はございませんでしたが、印西市との確認を要した同計画変更の内容の変更はございませんが、印西市との確認を要する箇所があり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調整できずにおりましたが、確認が終了しだい、組合ホームページに掲載する予定です。

現在、組合ホームページにパブリックコメントの手続きによる同計画変更(案)を掲載しております。組合ホームページに掲載されるまではご不便をお掛けいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

Q01-環境省の指定廃棄物の件

- (1)2018年12月20日に環境大臣に要望書を提出しているが、進捗はあったか。
- (2)2019年9月6日、組合ホームページに「指定廃棄物容器（ドラム缶）の梱包について」が掲載された。
- (2-1)番号が記入されているフレコンバッグはドラム缶を梱包したものであるが、その上にあるものは何か？

■ 指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について

指定廃棄物については、毎年、国の立入検査(保管状況等確認)を受け保管していますが、ドラム缶の腐食劣化を防止するため、ドラム缶をフレコンバッグで梱包し安全かつ適正に保管しています。

- 梱包したドラム缶数量 252本
- 実施時期 令和元年6月22日から9月2日まで
- 作業中の空間放射線量測定結果

《作業写真》



梱包前のドラム缶搬出作業



ドラム缶への梱包作業



保管場所への搬入作業



梱包後のドラム缶保管状況

注)保管容器のフレコンバッグ(120袋)は、劣化等がみられないため現状のまま保管します。

(2-2)2019年10月25日、組合ホームページに「指定廃棄物容器（ドラム缶）の梱包について作業中の空間放射線量測定結果（*補足追加）」として、ドラム缶2段積み的事実が掲載された。

C地点は「C地点（作業場所）については毎時計測をする。」との記載があり、7月13日で0.169、7月23日で0.218、8月3日で0.172、8月10日で0.118、8月17日で0.142と高い数値を示しているのはいかなる理由か？（測定位置や測定方法に問題はないのか？）

(2-3)「A・B地点については当日作業前と作業終了後に計測する。」と設定した理由は？

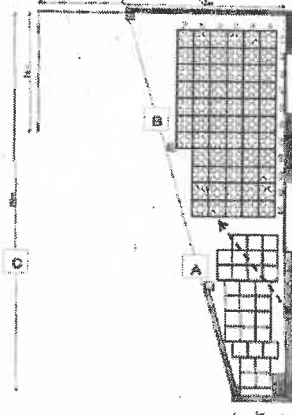
(2-4)A地点の測定結果は大きな変動が見られないが、B地点はより大きな変動がみられるのはいかなる理由か（測定位置や測定方法に問題はないのか？）

(3)ドラム缶の測定順序と結果を記載しないのはいかなる理由か？

空間放射線量測定結果

測定場所

指定廃棄物の保管状況



A・B地点については当日作業前と作業終了後に計測する。
C地点(作業場所)については毎時計測をする。

測定機種
HORIBA PA-1000
測定高さ
地上から100cm
測定単位
μSV/h

凡例
○ F3A室
□ プレコンの扉が2段階開き
□ プレコンの扉が1段階開き
※ プレコンは全てパレット上に設置
※ ○印のみドラム缶2段階開き

| 日付 | 時間 | A地点 | B地点 | C地点 | 備考 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|----|
| 6月22日 天気:晴 | 9:00 | 0.168 | 0.170 | 0.060 | |
| | 10:00 | - | - | 0.078 | |
| | 11:00 | - | - | 0.077 | |
| | 12:00 | - | - | 0.075 | |
| | 13:00 | - | - | 0.080 | |
| | 14:00 | - | - | 0.078 | |
| | 15:00 | - | - | 0.079 | |
| | 16:00 | - | - | 0.068 | |
| 6月29日 天気:晴 | 9:00 | 0.148 | 0.145 | 0.069 | |
| | 10:00 | - | - | 0.077 | |
| | 11:00 | - | - | 0.078 | |
| | 12:00 | - | - | 0.081 | |
| | 13:00 | - | - | 0.081 | |
| | 14:00 | - | - | 0.077 | |
| | 15:00 | - | - | 0.075 | |
| | 16:00 | - | - | 0.078 | |
| | 17:00 | 0.151 | 0.148 | 0.075 | |

| 日付 | 時間 | A地点 | B地点 | C地点 | 備考 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 7月6日 天気:晴 | 9:00 | 0.170 | 0.169 | 0.070 | |
| | 10:00 | - | - | 0.075 | |
| | 11:00 | - | - | 0.077 | |
| 7月13日 天気:曇 | 12:00 | 0.109 | 0.153 | 0.074 | |
| | 9:00 | 0.179 | 0.147 | 0.088 | |
| | 10:00 | - | - | 0.169 | |
| 7月27日 天気:晴 | 11:00 | - | - | 0.154 | |
| | 12:00 | 0.179 | 0.153 | 0.077 | |
| | 9:00 | 0.185 | 0.168 | 0.060 | |
| | 10:00 | - | - | 0.218 | |
| | 11:00 | - | - | 0.181 | |
| | 12:00 | - | - | 0.116 | |
| | 13:00 | - | - | 0.119 | |
| 8月3日 天気:晴 | 14:00 | - | - | 0.122 | |
| | 15:00 | - | - | 0.130 | |
| | 16:00 | 0.192 | 0.170 | 0.075 | |
| | 9:00 | 0.163 | 0.203 | 0.080 | |
| | 10:00 | - | - | 0.155 | |
| | 11:00 | - | - | 0.172 | |
| 8月10日 天気:晴 | 12:00 | 0.134 | 0.141 | 0.084 | |
| | 9:00 | 0.145 | 0.135 | 0.077 | |
| | 10:00 | - | - | 0.118 | |
| 8月17日 天気:晴 | 11:00 | - | - | 0.106 | |
| | 12:00 | 0.142 | 0.141 | 0.082 | |
| | 9:00 | 0.167 | 0.162 | 0.086 | |
| 8月24日 天気:晴 | 10:00 | - | - | 0.133 | |
| | 11:00 | - | - | 0.142 | |
| 9月24日 天気:晴 | 12:00 | 0.167 | 0.165 | 0.079 | |
| | 9:00 | 0.146 | 0.192 | | |
| | 10:00 | - | - | | C地点梱包作業無し |
| 9月27日 天気:晴 | 11:00 | - | - | | |
| | 12:00 | 0.178 | 0.184 | | |
| 9月27日 天気:晴 | 16:30 | 0.175 | 0.142 | | 最終シート編み |

(A01-1)Q01 に対する回答は以下の通り。

| 質問事項 | 回答 |
|---|--|
| <p>I 環境省の指定廃棄物の件</p> <p>(1)平成30年12月20日環境大臣に要望書を提出しているが、進捗はあったか。</p> <p>(2)令和元年9月6日、組合ホームページに「指定廃棄物容器指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について掲載された。</p> <p>(2-1)番号が記入されているフレコンバッグはドラム缶を梱包したものであるが、その上にあるものは何か。</p> <p>(2-2)令和元年10月25日組合ホームページに「指定廃棄物容器(ドラム缶)の梱包について作業中の空間放射線量測定結果(*補足追加)」として、ドラム缶2段積みの事実が掲載された。C地点は「C地点(作業場所)について毎時計測をする。」との記載があり、7月13日0.169、7月27日0.218、8月3日0.118、8月10日0.118、8月17日0.142と高い数値を示しているのはいかなる理由か。測定位置や方法に問題はないのか。</p> <p>(2-3)「A・B地点について当日作業前と作業終了後に計測する。」と設定した理由は。</p> <p>(2-4)A地点の測定結果は大きな変動が見られないが、B地点はより大きな変動が見られるのはいかなる理由か。測定位置や方法に問題はないのか。</p> <p>(3)ドラム缶の測定順序と結果を記載しないのはいかなる理由か。</p> | <p>(1)要望書の進捗について、2月18日に印西市に確認したところ、環境省からの回答は無いということでした。</p> <p>なお、令和2年2月21日に柏市長、松戸市長、流山市長、我孫子市長、印西市長の5市長は、現環境大臣に対し、国が設置する長期管理施設(処分場)早期確保などを求める要望書を提出しております。</p> <p>(2-1)指定廃棄物を入れたフレコンバッグです。</p> <p>(2-2)ガイドラインに沿って測定したものであり、その結果です。</p> <p>(2-3)安全に作業が完了したことを確認するため、測定しました。</p> <p>(2-4)ガイドラインに沿って測定したものであり、問題ないと考えております。</p> <p>(3)空間放射線量の測定については、A地点から順に測定しています。</p> |

(A01-2)指定廃棄物を入れたフレコンバッグと回答しているが、梱包後のドラム缶保管状況というキャプションがある写真では、パレットの上に4個の梱包後のドラム缶が結束されており、その高さはドラム缶1段分であるが、写真ではさらにその上にフレコンバッグらしきものが積まれているが(写真で赤枠で表示した部分)、これは何かと質している。2段積みになっているのは空間放射線量測定結果に表示されているようにD①のみである。 $4*(11*5+7*1+1)=4*(55+7+1)=4*63=252$ であるから、フレコンバッグらしきものは記載されていないものである。

(A02-2)(2-2)、(2-3)、(2-4)、(3)への回答は質問内容に則したものであるべきである。

Q03-操業報告の件

(1)操業報告の9ページの「表-8)排ガス中の重金属測定(調査測定)」で表の中で(カルシウム、銅、亜鉛についてはJIS K-0083を準用した)」という記載があるが、JIS-K-0083:2017ではカドミウム、鉛、ニッケル、マンガン、バナジウム、クロム、ベリリウム、ヒ素及びセレンを測定対象としているのみで、カルシウム、銅、亜鉛は測定対象としていないため、準用はありえない。正しい表記に修正されたい。

(2)2ページ「表-2)①排出ガス測定」の表の備考【測定方法】で、水銀(Hg)の粒子状でJIS Z-8808準拠(試料採取方法)と記載されているが、JIS Z-8808は測定方法ではなく試料採取方法であるので、修正していただきたい。

(A03-1)2020年3月6日配布の回答は下記の通り。

| | |
|---|--|
| <p>3 操業報告の件</p> <p>(1)操業報告の9ページの「表-8」排ガス中の重金属測定(調査測定)の表の中で(カルシウム、銅、亜鉛についてはJIS K-0083を準用した)という記載があるが、JIS-K-0083:2017ではカルシウム、鉛、ニッケル、マンガン、バナジウム、クロム、ベリリウム、ひ素及びセレンを対象としているのみで、カルシウム、銅、亜鉛は、測定対象としていないため準用はありえない、正しい表記に修正されたい。</p> <p>(2)2ページの「表-2」①排出ガス測定」の表の備考【測定方法】で、水銀(Hg)の粒子状でJIS-Z-8808 準拠(試料採取方法)と記載されているが、JIS Z-8808 は測定方法ではなく試料採取方法であるので、修正していただきたい。</p> | <p>3(1)「JIS K-0083を準拠」して測定していますので、この表記に変更します。</p> <p>(2)「排出ガス測定」表の備考【測定方法】に「JIS Z8808 準拠(試料採取方法)」と記載していますが、次回からは、排出ガス中の水銀測定方法で示されている「環境省告示第94号」に変更しようと考えております。</p> |
|---|--|

(A03-2)「回答の3(1)「JIS K-0083を準拠」して測定していますので、この表記に変更します。」という回答は到底納得できるものではない。「準拠」というのは「すでにある規格や基準、標準に従うこと」を意味するのであり、JIS K-0083でカルシウム、銅、亜鉛は測定対象としてないので、準拠という言葉は適用できない。さらに、「準用」はある事項に関する規定を他の類似の事項に必要な修正を加えてあてはめることを意味しているため、適用できない。

Q04-水銀の測定是件

水銀の定量下限は、「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～-日本環境測定分析協会」

(https://www.env.go.jp/air/suigin/new_paper2.pdf)に、ガス状水銀の定量下限の目安は0.11マイクログラム、粒子状水銀の定量下限の目安は0.0011マイクログラムと記載されている。

しかし、表-2) ①排出ガス測定に記載の定量下限値は0.24マイクログラムで、目安を大きく超えている。

昨年度のガス状水銀の定量下限は5マイクログラムで、問題外と思われる数値である。

いかがなものか？

【問12】

検出下限及び定量下限の目安を教えてください。

下表のとおり、「水銀に関する水俣条約を踏まえた水銀大気排出対策の実施について(第一次答申)」の別紙「排ガス中の水銀測定方法」の参考3. 精度評価において記載されている検出下限及び定量下限を参考としてください。

表 ガス状水銀及び粒子状水銀の検出下限及び定量下限 (単位:µg/Nm³)

| | ガス状水銀 | 粒子状水銀 |
|------|-------|--------|
| 検出下限 | 0.03 | 0.0003 |
| 定量下限 | 0.11 | 0.0011 |

*「水銀に関する水俣条約を踏まえた水銀大気排出対策の実施について(第一次答申)」の別紙「排ガス中の水銀測定方法」の参考3. 精度評価から抜粋。

28

(A04-1)2020年3月6日配布の回答は下記の通り。

| | |
|--|--|
| <p>4 水銀の測定の件 水銀の定量下限は、「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～日本環境測定分析協会」に、ガス状水銀の定量下限値の目安は0.0011マイクログラム、粒子状水銀の定量下限の目安は0.0011マイクログラムと記載されている。 しかし、表-2)①排出ガス測定に記載の定量下限値0.24マイクログラムで、目安を大きく超えている。 昨年度のガス状水銀の定量下限は5マイクログラムで、問題外と思われる数値である。いかかがなものか。</p> | <p>4 組合としては、測定業者へ確認し、基準値(50マイクログラム)の1/10である5マイクログラムを定量下限値として採用しています。 今年度は測定業者が変わり、0.24マイクログラムまで下げた定量下限値で、より精度が高い値ということで報告を受けています。 ご質問の資料では、定量下限値は参考として例示しており、定められたものではありません。 測定機器や報告書の作成方法については、測定業者により違いがありますので、ご理解いただければと思います。</p> |
|--|--|

(A04-2)定量下限の5マイクログラムは採用すべき数値ではないことは、環境省告示第九十四号(平成二十八年九月二十六日)及び「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～日本環境測定分析協会」で、検出下限及び定量下限は、(1)分析装置、(2)測定方法、(3)試料ガスとして記載されている。(特に、「分析装置の項では得られた装置の検出下限が1ngより大きいときには、器具、機器などを確認して、この値以下になるよう調節する。」と記載されている。)よって、昨年度の測定は条件を満たしていない測定ということになる。したがって、測定業者により違いがあるということを理解いただきたいという論理は破綻している。

Q05-環境委員会の会議録の作成が遅いのはいかなる理由か

環境委員会の会議録の作成が極めて遅い。遅い理由は?。明確に説明していただきたい。

Q06-印西市許可のごみ収集運搬許可業者が運行しているごみパッカー車の排気ガスが凄くて、すれ違った時でも気分が悪くなる状況である。改善してもらいたい。過積載はないのか?

Q07-過日開催された環境委員会で、図示または調査結果を回答すると説明しながら、全く実行されていないのはいかなる理由か。明確に説明していただきたい。

Q08-表2) ①排出ガス測定結果と組合ホームページの一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録が一致しないところがあるが、これはいかなる理由か？

(A08-1)2020年3月6日配布の回答は下記の通り。

| | |
|--|---|
| <p>B 表2)①排出ガス測定結果と組合ホームページの一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録が一致しないところがある。これは、いかなる理由か。</p> | <p>排出ガス測定結果は分析業者による測定した値で、維持管理に関する記録は当クリーンセンターの連続分析装置で測定した値になります。 なお、組合ホームページにアップしている維持管理に関する記録には、連続測定装置による測定と表記します。</p> |
|--|---|

記入された回答は何を言わんとしているのか、不明である。

(A08-2)2020年3月6日配布の測定結果は下記の通り。

| 項目 | 単位 | 規定期 | 測定値 | 定量下限値 | 測定値(O ₂ 12%換算値) | | | | | | 備考 【測定方法】 |
|-------------------------|-------------------|--------------------|------|-------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----|-----------------------|
| | | | | | 1号炉 R1.6.7 | 2号炉 R1.7.16 | 3号炉 R1.8.29 | 1号炉 R2.1.16 | 2号炉 R1.12.6 | 3号炉 | |
| ばいじん | g/Nm ³ | 0.08 | 0.03 | 0.001 | ND | ND | ND | | ND | | JIS Z-8808 |
| 硫黄酸化物(SO _x) | ppm | 1900 | 50 | 1 | 10 | 4.3 | 4.9 | | 1.5 | | JIS K-0103 |
| 窒素酸化物(NO _x) | ppm | 250 | 120 | 10 | 38 | 33 | 34 | | 51 | | JIS K-0104 |
| 塩化水素(HCl) | ppm | 430 | 80 | 10 | 31 | 28 | 32 | | 22 | | JIS K-0107 |
| 水濁(%) | ガス状 | | | | 0.36 | 0.85 | 1.2 | | 1.5 | | JIS K-0222 |
| | 粒子状 | mg/Nm ³ | 50 | — | 0.24 | ND | ND | ND | ND | | JIS Z-8808 準拠(試料採取方法) |
| | 合計 | | | | 0.36 | 0.85 | 1.2 | | 1.5 | | ガス状+粒子状 |

※ NDは定量下限値未満を示しています。

(A08-3)2020年2月12日配布の測定結果は以下の通り。



水銀 有害ごみ(乾電池、蛍光灯、水銀入り温度等)の正しい出し方の啓発をしています。

| 区分 | 単位 | 規制値 | 協定値 | 定量下限値 | 測定値(O ₂ 12%換算) | | | 備考 【測定方法】 | |
|-------------------------|-------------------|------|------|-------|---------------------------|----------------|----------------|--------------|-----------------------|
| | | | | | 1号炉 R1.6.7 | 2号炉 R1.7.16 | 3号炉 R1.8.29 | | |
| ばいじん | g/Nm ³ | 0.08 | 0.03 | 0.001 | ND | ND | ND | JIS Z-8808 | |
| 硫黄酸化物(SO _x) | ppm | 1900 | 50 | 1 | 10 | 4.3 | 4.9 | 1.5 | JIS K-0103 |
| 窒素酸化物(NO _x) | ppm | 250 | 120 | 10 | 38 | 33 | 34 | 51 | JIS K-0104 |
| 塩化水素(HCl) | ppm | 430 | 80 | 10 | 31 | 28 | 32 | 22 | JIS K-0107 |
| 水銀(Hg) | ガス状 | 50 | — | 0.24 | 0.36 | 0.85 | 1.2 | 1.5 | JIS K-0222 |
| | 粒子状 | | | | ND | ND | ND | ND | JIS Z-8808 準拠(試料採取方法) |
| | 合計 | | | | 0.36 | 0.85 | 1.2 | 1.5 | ガス状+粒子状 |

※ NDは定量下限値未満を示しています。

(A08-4) 組合ホームページにおける「一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録」(作成日: 2020/01/20 14:03:25)

〈第三者機関による測定結果〉
作成日: 2020/01/20 14:03:25

| 炉番号 | 測定年月日 | 測定を行った位置 | 測定結果を得た年月日 | ばい煙濃度(O ₂ 12%換算) | | | | | 排ガス中のダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/Nm ³) |
|-----------|-----------|----------|------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------|------------------------------|---|
| | | | | ばいじん g/Nm ³ | 硫黄酸化物(SO _x) ppm | 窒素酸化物(NO _x) ppm | 塩化水素(HCl) ppm | 水銀(Hg) μg/Nm ³ | |
| 1号炉 | 令和元年6月7日 | 煙突中段 | 令和元年7月23日 | ND | 10.0 | 38 | 31 | 0.36 | — |
| | | | 令和元年8月1日 | — | — | — | — | — | 0.019 |
| 令和元年8月26日 | ND | | 4.3 | 33 | 28 | 0.85 | — | | |
| 令和元年9月2日 | — | | — | — | — | — | 0.095 | | |
| 3号炉 | 令和元年8月29日 | | 令和元年9月26日 | ND | 4.9 | 26 | 20 | 1.20 | — |
| | | | 令和元年9月27日 | — | — | — | — | — | 0.090 |

※ NDは定量下限値未満を示しています。

(A08-5) 組合ホームページにおける「一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録」(作成日: 2020/03/02 13:43:12)

〈第三者機関による測定結果〉
作成日: 2020/03/02 13:43:12

| 炉番号 | 測定年月日 | 測定を行った位置 | 測定結果を得た年月日 | ばい煙濃度(O ₂ 12%換算) | | | | | 排ガス中のダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/Nm ³) |
|-----------|-----------|----------|------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------|------------------------------|---|
| | | | | ばいじん g/Nm ³ | 硫黄酸化物(SO _x) ppm | 窒素酸化物(NO _x) ppm | 塩化水素(HCl) ppm | 水銀(Hg) μg/Nm ³ | |
| 1号炉 | 令和元年6月7日 | 煙突中段 | 令和元年7月23日 | ND | 10.0 | 38 | 31 | 0.36 | — |
| | | | 令和元年8月1日 | — | — | — | — | — | 0.019 |
| 令和元年8月26日 | ND | | 4.3 | 33 | 28 | 0.85 | — | | |
| 令和元年9月2日 | — | | — | — | — | — | 0.095 | | |
| 3号炉 | 令和元年8月29日 | | 令和元年9月26日 | ND | 4.9 | 26 | 20 | 1.20 | — |
| | | | 令和元年9月27日 | — | — | — | — | — | 0.090 |

※ NDは定量下限値未満を示しています。

(A08-6)指摘したことを確認して、いずれかを訂正すべきであるのに、いずれも訂正していないことから、全く確認を行っていないと推定される。

~~Q09=ごみ質分析グラフの日付が表=9) ごみ質分析(調査測定)と異なるのはいかなる理由か?~~

~~また、配布される資料のグラフがカラーでなく、白黒のため、区別が分かりにくい。~~

~~白黒でもはっきり分かるように表示されたい。~~

~~回答=グラフは改善を試みているようであるが、それよりも、元のデータが添付されていないのは如何なものか。~~

○自治会側からの質問事項に対する回答書（「令和元年度第4回環境委員会への質問事項に対する回答」に対しての質問）

| 質問事項 | 回答 |
|---|--|
| <p>1 環境省の指定廃棄物の件</p> <p>(A01-2)指定廃棄物を入れたフレコンバッグと回答しているが、梱包後のドラム缶保管状況というキャプションがある写真では、パレットの上に4個の梱包後のドラム缶が結束されており、その高さはドラム缶1段分であるが、写真ではさらにその上にフレコンバッグらしきものが積み重ねられているが、これは何かと質している。</p> <p>2段積みになっているのは空間放射線量測定結果に表示されているように D⑩のみである。</p> <p>$4*(11*5+7*1+1)=4*(55+7+1)=4*63=252$ であるから、フレコンバッグらしきものは記載されていないものである。</p> <p>(A02-2) (2-2)、 (2-3)、 (2-4)、 (3)への回答は質問内容に則したものであるべきである。</p> | <p>(A01-2) 資料6 1-(2-1)質問で回答</p> <p>(A02-2)</p> <p>(2-2) 資料6 1-(2-2)質問で回答</p> <p>(2-3) 資料6 1-(2-3)質問で回答</p> <p>(2-4) 資料6 1-(2-4)質問で回答</p> <p>(3) 資料6 1-(3)質問で回答</p> |

3 操業報告の件

(A03-2)「回答の3(1)「JIS K-0083を準拠」して測定していますので、この表記に変更します。」という回答は到底納得できるものではない。「準拠」というのは「すでにある規格や基準、標準に従うこと」を意味するのであり、JIS K-0083でカルシウム、銅、亜鉛は測定対象としてないので、準拠という言葉は適用できない。さらに、「準用」はある事項に関する規定を他の類似の事項に必要な修正を加えてあてはめることを意味しているため、適用できない

(A03-2) 資料6 4-(1)質問で回答

4 水銀の測定の件

(A04-2)定量下限の5マイクログラムは採用すべき数値ではないことは、環境省告示第九十四号(平成二十八年九月二十六日)及び「水銀大気排出規制に係る水銀測定法等に関する説明会 排出ガス中の水銀測定について～水銀測定の留意事項とよくあるご質問～日本環境測定分析協会」で、検出下限及び定量下限は、(1)分析装置、(2)測定方法、(3)試料ガスとして記載されている。(特に、「分析装置の項では得られた装置の検出下限が1ngより大きいときには、器具、機器などを確認して、この値以下になるよう調節する。」と記載されている。)

よって、昨年度の測定は条件を満たしていない測定ということになる。

したがって、測定業者により違いがあるということを理解いただいたという論理は破綻している。

(A04-2)

排ガス中の水銀測定では検出下限及び定量下限の規定はなく、ご質問の説明会資料には、(1)装置の検出下限及び定量下限は、使用する分析装置の状態などによって変動する、(2)測定法の検出下限及び定量下限は、前処理操作及び測定条件によって変動すると記載されており、(3)試料ガスは、採取する量により変動すると、測定業者に確認をしていますが、このことから、測定業者により違いがあるということをご理解いただきたいと思います。

8 表 2)①排出ガス測定結果と組合ホームページの一般廃棄物処理施設の維持管理に関する記録が一致しないところがあるが、これはいかなる理由か。

記入された回答は何を言わんとしているのか、不明である。

(A08-6)指摘したことを確認して、いずれかを訂正するべきであるのに、いずれも訂正していないことから、全く確認を行っていないと推定される。

ご質問の確認する資料を勘違いしていました申し訳ございません。

(A08-6)ご指摘いただいたことを理解していなかったことが、その後の資料作成に反映できなかった理由と考えられます。

本件につきましては、令和2年度第1回環境委員会の配布資料の6ページで訂正させていただきますました。(下段※印に訂正内容を記載しております。)
申し訳ございませんでした。

令和2年度印西地区ごみ処理実施計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定により、令和2年度印西地区ごみ処理実施計画を次のとおり定める。

1. 総則

(1) 趣旨

印西地区ごみ処理実施計画（以下「計画」という。）は、平成31年3月に策定した印西地区ごみ処理基本計画の推進及び実施のために必要な令和2年度のごみの減量、資源化及び適正な処理を図るために必要な事項を定めるものとする。

2. 計画の期間及び区域

(1) 計画期間

計画の期間は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までとする。

(2) 計画区域

印西市、白井市、栄町の全域とする。

(3) 一般廃棄物（資源物含む）の排出量の見込み

印西地区環境整備事業組合（以下「組合」という。）令和2年度推計ごみ量で、次のものが対象となる。

(単位：t)

| 区 分 | ※1 家庭系 | ※2 事業系 | 合 計 |
|---------|--------|--------|--------|
| 燃やすごみ | 30,872 | 12,197 | 43,069 |
| 燃やさないごみ | 971 | 21 | 992 |
| 粗大ごみ | 1,648 | 7 | 1,655 |
| 資源物 | 9,850 | 0 | 9,850 |
| 計 | 43,341 | 12,225 | 55,566 |

| | | | |
|-----------------|-------|---|-------|
| 有価物集団（資源回収団体）回収 | 2,932 | 0 | 2,932 |
|-----------------|-------|---|-------|

※1：家庭系とは、家庭から排出される一般廃棄物を、組合及び栄町が委託した収集業者や排出者が、印西クリーンセンターへ搬入する一般廃棄物。

※2：事業系とは、事業活動に伴う一般廃棄物を、委託した一般廃棄物収集運搬許可業者や事業者が、印西クリーンセンターへ搬入する一般廃棄物。

3. 一般廃棄物の処理主体及び処理方法

(1) 家庭から排出される一般廃棄物の処理

家庭から排出される一般廃棄物（ごみ）は、分別収集により、ごみの減量・資源化を図るものとし、排出については、分別区分への適正排出の遵守及び組合指定袋による排出の徹底などにより、一層の適正処理に努める。

なお、栄町はごみの排出抑制を図るため有料制を導入していることから、独自の指定袋、指定シールを使用する。

| 一般廃棄物の種類 | 収集・運搬主体 | 中間処理 | | 最終処分 | |
|-------------------|------------------|------------------|--|------------------------------|-----------------|
| | | 処理主体 | 処理方法 | 処理主体 | 処理方法 |
| 燃やすごみ (可燃ごみ) | 組合（委託） 排出者 | 組合（直営） | ・焼却 | ・組合直営 ・組合委託 (焼却残渣等の一部) | 埋め立て |
| | 栄町（委託） 排出者 | | | | |
| 燃やさないごみ (不燃ごみ) | 組合（委託） 排出者 | 組合（直営） | ・手選別（有価物・破砕不適物の回収） ・手選別後破砕（破砕後、鉄類は回収・不燃残渣は埋め立て） | ・組合直営 ・組合委託 (一部) | 埋め立て 資源化 |
| | 栄町（委託） 排出者 | | | | |
| 粗大ごみ | 組合（委託） 排出者 | 組合（直営） | ・手選別（有価物・破砕不適物の回収） ・手選別後破砕（破砕後、鉄類は回収・可燃残渣は焼却・不燃残渣は埋め立て） | ・組合直営 ・組合委託 (焼却残渣等の一部) | 埋め立て 資源化 |
| | 栄町（委託） 排出者 | | | | |
| 資源物 | 組合（委託） | 組合（委託） ※1一部業者 | 資源化 | — | — |
| | ※3 構成市町 (直営) | ※2 構成市町 (委託) | | | |
| | 栄町（委託） | 栄町（委託） | | | |
| ※4 有害ごみ | 組合（委託） 栄町（委託） | 組合（委託） | ・資源物抽出型無害化 処理 | ・組合委託 | 埋め立て 一部資源化 |

※1：中間処理の主体について、資源物のうち、ビン、缶、ペットボトル及び容器包装プラスチックは、組合（委託）とする。

※2：中間処理の主体について、資源物のうち布類及び紙類、廃食用油は、スプレー缶類は資源化業者とする。

※3：資源物のうち、使用済小型電子機器は拠点回収し、構成市町直営で収集運搬する。

※4：有害ごみは、使用済み乾電池、使用済み蛍光灯、水銀入り温度計類とする。なお、栄町は、スプレー缶・カセットガスボンベを有害ごみとして収集し、民間中間処理施設に搬入する。

(2) 事業活動に伴って排出される一般廃棄物の処理

事業活動に伴って排出される一般廃棄物（ごみ）は、排出者自らの責任において適正に処理することを原則とする。

排出者はごみの減量及び適正な分別に努め、資源化に協力することとし、事業者自ら又は組合、構成市町が許可した一般廃棄物収集運搬業者を活用するなどして、一般廃棄物については組合の処理施設又は一般廃棄物処分業の許可を受けた民間の中間処理施設で処理を行うこととする。

| 一般廃棄物の種類 | 収集・運搬主体 | 中間処理 | | 最終処分 | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------|-------------|
| | | 処理主体 | 処理方法 | 処理主体 | 処理方法 |
| 可燃ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ | 許可業者 排出者 | 組合（直営） | ・焼却・破碎・資源化等 | ・組合（直営） ・組合（焼却 残渣等一部 委託） | 埋め立て 資源化 |
| | | 許可業者 排出者 | ・焼却・資源化等 | ・許可業者 ・排出者 | 埋め立て 資源化 |

(3) 災害に伴って排出される廃棄物の処理

災害に伴って排出される廃棄物（ごみ）の処理等は、構成市町で地域防災計画及び廃棄物処理計画により定められています。

4. 発生抑制・排出抑制計画

印西地区ごみ処理基本計画（平成31年3月改訂）の基本理念「みんなでつくる循環型社会～環境への負荷をかけない地域を目指して～」に基づき、これまでの「使い捨てる生活」から「ごみを出さない生活」へ、ライフスタイルの転換を意識した3Rの取組を一層強化し、住民・事業者・行政が連携・協働して積極的に各種施策に取り組めます。

| 主な施策 | 施策概要 |
|---------------------|--|
| ごみ排出量の削減 | <ul style="list-style-type: none"> ●食品ロスを減らそう ●生ごみの水切りを徹底しよう ●マイバッグを使用しよう ●繰り返し使えるものを使用しよう ●事業系ごみの排出を減らそう |
| ごみの分別、リユース・リサイクルの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ●適正な分別・処理を推進しよう ●資源の分別を徹底しよう ●資源回収に協力しよう ●リユース・リサイクル商品を活用しよう |
| ごみについて考える | <ul style="list-style-type: none"> ●ごみに関する知識を高め、実践しよう ●ごみ処理有料化について考えよう ●資源化の仕組みづくりについて考えよう |

5. 収集運搬計画

(1) 収集運搬の概要

家庭系ごみについては別表のとおりとする。

なお、印西クリーンセンターに一般廃棄物を直接搬入する場合は、印西地区環境整備事業組合ごみ処理に関する取扱要領に規定する、印西クリーンセンター受入基準に従うものとする。

事業系ごみについては、排出者責任により事業者自ら又は収集運搬許可業者への委託によることとする。

別 表

①家庭系ごみ

(単位：t)

| 種 類 | 収集運搬 主体 | 収集 回数 | 収集方法 | | 収集量 (t) | 主な搬入先 | |
|----------------------|------------------------------|---------------------|--------------------------------------|---------------------------|------------|---|-------------------------|
| 燃やすごみ | 組合 (委託) 栄町 (委託) | 週2回 | 指定袋による ステーション方式 (栄町は有料制) | | 30,872 | 印西クリーンセンター 民間中間処理施設 ・栄町有害ごみ(スプレー缶等) | |
| 燃やさない ごみ・ 有害ごみ | | 月2回 栄町 (不燃ごみ) | 指定袋による ステーション方式 (栄町は有料制) | | 971 | | |
| | | 週1回 (有害ごみ) | | | | | |
| 粗大ごみ | | 月1回 | 戸別収集方式 (集合住宅は集積所 収集) (白井市・栄町は有料制) | | 1,648 | | |
| 資源物 | 組合 (委託) 栄町 (委託) | 週1回 | | | 9,850 | 民間中間処理施設 | |
| | | | ビン・缶 | 麻袋によるステーション 方式 | | | ビン 1,615 缶 720 |
| | | | ペット ボトル | 網袋によるステーション 方式 | | | 670 |
| | | | プラス チック製 容器包装 | 指定袋によるステーション 方式 | | | 2,140 |
| | | | 紙 類 | ひもで結束による品目 ごとのステーション方式 | | | 4,080 |
| | | | 布 類 | 透明な袋又は指定袋 によるステーション方式 | | | 551 |
| | | | スプレー 缶類 (栄 町を除 く) | 透明な袋による ステーション方式 | | | 50 |

| | | | | | | |
|---|--------------|-----|------------|---------------------|--------|--------------|
| | 構成市町 (直営) | 月2回 | 小 型 家 電 | 回収ボックスによる 拠点回収方式 | 13 | 認定事業者 |
| | | 随時 | 廃 食 用 油 | 拠点回収 | 11 | 民間再資源 化施設 |
| 計 | — | — | — | — | 43,341 | — |

②事業系ごみ

(単位：t)

| 種 類 | 収集運搬 主体 | 収集 回数 | 収集方法 | 収集量 (t) | 主な搬入先 |
|------|-------------------|----------|---------------------------|------------|--------------------------------|
| 可燃ごみ | 事業者又 は許可業 者 | — | 許可業者による事業所別 収集方式又は自己搬入 | 12,197 | 印西クリー ンセンター 民間中間処 理施設 |
| 不燃ごみ | | | | 21 | |
| 粗大ごみ | | | | 7 | |
| 資源物 | | | | — | |
| 計 | — | — | — | 12,225 | — |

(2) 収集搬入しない一般廃棄物

収集しない一般廃棄物は、「印西地区環境整備事業組合ごみ処理に関する取扱要領」第4条第3項別表の「印西クリーンセンター受入基準別表-1の2. 受入れできないごみ」とする。

排出方法は次のとおりとする。

①特定家庭用機器再商品化法（以下「家電リサイクル法」という。）対象機器

家電リサイクル法対象機器は排出者が購入した小売業者、若しくは買い替えの場合には、新しい製品を購入する小売業者へ引取りを依頼するなどして再資源化を図るものとする。

②廃二輪自動車

廃二輪自動車（50ccを超えるもの）は、国内二輪メーカー及び輸入事業者の自主的取組みである二輪車リサイクルシステムに基づく廃棄二輪車取扱店又は指定引取り窓口に持込むものとする。

③廃消火器

廃消火器は、廃消火器リサイクルシステムに基づく消火器取扱店に持込むものとする。

④注射針等

注射針等は、感染性廃棄物として医療機関または保険薬局などに持込むものとする。

⑤その他の収集しない一般廃棄物

その他、収集しない一般廃棄物は排出者自ら処理するか、専門業者に相談するか、または工事作業を依頼した業者や購入した店に引取りを依頼するか等により適正に処理を行うものとする。

6. 中間処理計画

燃やすごみは、印西クリーンセンターで焼却し、燃やさないごみや粗大ごみは、手選別により、有価物・破砕不適物を回収し、破砕後鉄類は回収、可燃残渣は焼却、不燃残渣は埋め立てる。

資源物は、民間の資源中間処理施設で、選別、圧縮、梱包を行う。資源物のうち使用済み小型電子機器については、拠点回収分は市・町がストックヤードへ搬入し保管、ピックアップ回収分は組合がクリーンセンターで保管する。

(1) 施設の概要

| 処理対象 | 名称 | 所在地 | 処理能力 | 処理方式等 |
|-----------|-------------|------------------|--------------------------|--|
| 可燃ごみ | 印西クリーンセンター | 印西市大塚 1丁目1番地1 | 300 t/日 (100 t × 3 炉) | 全連続燃焼式焼却炉 ・焼却処理(可燃系粗大ごみは破碎後焼却処理)する。 |
| 不燃ごみ・粗大ごみ | 印西クリーンセンター | 印西市大塚 1丁目1番地1 | 50 t/日 | 横型回転式破碎機 ・手選別後有価物は売却、不燃系粗大ごみは破碎処理する。 |
| 資源物 | ビン | 民間中間処理施設 | | ・選別後公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ルートでの再商品化事業者へ引き渡す。 ・栄町は独自ルートで処理する。 |
| | 缶・スプレー缶 | 民間中間処理施設 | | ・選別圧縮後売却 ・栄町は独自ルートで処理する。 |
| | ペットボトル | 民間中間処理施設 | | ・選別後公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ルートでの再商品化事業者へ引き渡す。 ・栄町は独自ルートで処理する。 |
| | プラスチック製容器包装 | 民間中間処理施設 | | ・選別後公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ルートでの再商品化事業者へ引き渡す。 ・栄町は独自ルートで処理する。 |
| | 使用済み小型電子機器 | 拠点回収分 | ・ストックヤードで保管 | |
| ピックアップ回収分 | | ・クリーンセンターで保管 | | |

※紙・布類は、直接売却する。(栄町は独自ルートで処理する。)

(2) 計画処理量

(単位：t)

| 施設名 | 種類 | 計画処理量 |
|------------|-------------|--------|
| 印西クリーンセンター | 可燃ごみ | 43,069 |
| | 不燃ごみ・粗大ごみ | 2,647 |
| 民間中間処理施設 | 資源物 | 5,219 |
| | ビン | 1,615 |
| | 缶 (スプレー缶含む) | 770 |
| | ペットボトル | 670 |

| | | |
|--|-------------|-------|
| | プラスチック製容器包装 | 2,140 |
| | 使用済小型電子機器 | 13 |
| | 廃食用油 | 11 |

※紙・布類は、直接売却する。

7. 最終処分計画

印西クリーンセンターで処理した焼却灰及び破碎残渣は、下記の最終処分場において埋立処分する。

(1) 施設の概要

| 名 称 | 所在地 | 処理能力 | 処理方式 | |
|--------------------|------------|-----------|------------------------|------|
| 印西地区一般廃棄物 最終処分場 | 印西市岩戸 3630 | 埋立面積 | 53,900 m ² | セル方式 |
| | | 埋立容量 | 402,200 m ³ | |
| | | 残余容量 | 311,271 m ³ | |
| | | (令和2年3月末) | | |

(2) 計画処理量

(単位：t)

| 施設名 | 種 類 | 計画処理量 |
|--------------------|------|-------|
| 印西地区一般廃棄物 最終処分場 | 焼却灰 | 5,467 |
| | 不燃残渣 | 421 |

8. 一般廃棄物処理業

(1) 収集運搬業

| 許可者 | 許可数 | 備 考 | |
|-----|-----------|----------------------------|-----------|
| 印西市 | <u>23</u> | ・一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥を含む） | <u>1</u> |
| | | ・し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物 | <u>6</u> |
| | | ・し尿及び浄化槽汚泥、特定家庭用機器を除く一般廃棄物 | <u>13</u> |
| | | ・その他 | <u>3</u> |
| 白井市 | <u>18</u> | ・特定家庭用機器を含む | <u>4</u> |
| | | ・植栽ごみ、食品残渣に限る | <u>1</u> |
| | | ・浄化槽汚泥に限る | <u>1</u> |
| | | ・実験動物死体及び付随汚物に限る | <u>1</u> |
| | | ・再生可能な樹木、枝葉及び刈草に限る | <u>1</u> |
| | | ・感染性以外の紙おむつに限る | <u>1</u> |
| | | ・その他 | <u>9</u> |

| | | | |
|----|-----------|--|--|
| 栄町 | <u>11</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物（し尿処理及び浄化槽汚泥除く） ・し尿処理及び浄化槽汚泥に限る ・処理困難物に限る ・食品残渣に限る（運搬に限る） | <u>5</u> <u>3</u> <u>1</u> <u>2</u> |
|----|-----------|--|--|

※収集運搬許可は、現行の許可業者にて対応できることから、新規の許可は認めないものとする。ただし、管轄する市町長がやむを得ないと認めた場合はこの限りではない。

(2) 処分業

| 許可者 | 許可数 | 備 考 | |
|-----|----------|---|----------------------------------|
| 印西市 | <u>7</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・刈草、剪定枝等の堆肥化 ・食品残渣の堆肥化 ・廃家電製品等 | <u>5</u> <u>1</u> <u>1</u> |
| 白井市 | <u>3</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル、ビン、缶処分 ・食品残渣、バイオマスガス化発電等 ・廃蛍光灯管類 | <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> |
| 栄町 | <u>3</u> | <ul style="list-style-type: none"> ・食品残渣、刈草、剪定枝等の堆肥化 ・ペットボトル処分 ・粗大、廃プラスチック、電化製品、金属製品 | <u>1</u> <u>1</u> <u>1</u> |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

平成31年4月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|-------------|
| | | t/月 | |
| 1号炉 | 892.87 | t/月 | 4/17 ~ 4/30 |
| 2号炉 | 1,555.71 | t/月 | 4/8 ~ 4/30 |
| 3号炉 | 947.81 | t/月 | 4/1 ~ 4/11 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 883 ~ 908 | ℃ |
| | | 2号炉 | 826 ~ 895 | ℃ |
| | | 3号炉 | 903 ~ 924 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 192 ~ 195 | ℃ |
| | | 2号炉 | 192 ~ 195 | ℃ |
| | | 3号炉 | 194 ~ 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 19 ~ 26 | ppm |
| | | 2号炉 | 8 ~ 22 | ppm |
| | | 3号炉 | 5 ~ 9 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
平成31年4月分

施設名 1号炉

排ガス採取年月日 4/17 ~ 4/30

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 | ~ 11 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 53 | ~ 65 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 20 | ~ 33 | 430 |

施設名 2号炉

排ガス採取年月日 4/8 ~ 4/30

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 6 | ~ 19 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 29 | ~ 62 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 20 | ~ 34 | 430 |

施設名 3号炉

排ガス採取年月日 4/1 ~ 4/11

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 | ~ 6 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 55 | ~ 57 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 11 | ~ 16 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 5 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-------|------------------------|
| | 数量 | 単位 | |
| 1号炉 | 1,371.45 | t / 月 | 5/1 ~ 5/17、5/27 ~ 5/31 |
| 2号炉 | 2,117.37 | t / 月 | 5/1 ~ 5/31 |
| 3号炉 | — | t / 月 | — |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|----|
| | | | 値 | 単位 | 備考 |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 868 ~ 912 | °C | |
| | | 2号炉 | 865 ~ 907 | °C | |
| | | 3号炉 | — ~ — | °C | |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 193 ~ 195 | °C | |
| | | 2号炉 | 193 ~ 195 | °C | |
| | | 3号炉 | — ~ — | °C | |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 15 ~ 27 | ppm | |
| | | 2号炉 | 9 ~ 19 | ppm | |
| | | 3号炉 | — ~ — | ppm | |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートプロア噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果

令和元年5月分

施設名 1号炉

排ガス採取年月日 5/1 ~ 5/17、5/27 ~ 5/31

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 7 | ~ 14 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 | ~ 68 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 17 | ~ 33 | 430 |

施設名 2号炉

排ガス採取年月日 5/1 ~ 5/31

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 10 | ~ 18 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 50 | ~ 63 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 19 | ~ 41 | 430 |

施設名 3号炉

排ガス採取年月日 —

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|-----|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | — | ~ — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — | ~ — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — | ~ — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — | ~ — | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 6 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|------------------------|
| | 数量 | 単位 | |
| 1号炉 | 1,528.51 | t/月 | 6/1 ~ 6/24 |
| 2号炉 | 867.53 | t/月 | 6/1 ~ 6/10、6/27 ~ 6/30 |
| 3号炉 | 1,385.23 | t/月 | 6/13 ~ 6/28 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | | | 値 | 単位 |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 879 ~ 920 | ℃ |
| | | 2号炉 | 859 ~ 892 | ℃ |
| | | 3号炉 | 870 ~ 899 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 195 ~ 195 | ℃ |
| | | 2号炉 | 194 ~ 195 | ℃ |
| | | 3号炉 | 195 ~ 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 10 ~ 23 | ppm |
| | | 2号炉 | 8 ~ 13 | ppm |
| | | 3号炉 | 4 ~ 7 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果

令和元年6月分

施設名 1号炉

排ガス採取年月日 6/1 ~ 6/24

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 | ~ 10 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 55 | ~ 62 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 12 | ~ 23 | 430 |

施設名 2号炉

排ガス採取年月日 6/1 ~ 6/10、6/27 ~ 6/30

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 8 | ~ 13 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 54 | ~ 63 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 14 | ~ 24 | 430 |

施設名 3号炉

排ガス採取年月日 6/13 ~ 6/28

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 | ~ 8 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 54 | ~ 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 10 | ~ 14 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 7 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|------|------------|-------|------------|
| | — | t / 月 | |
| 1 号炉 | — | t / 月 | — |
| 2 号炉 | 2, 119. 97 | t / 月 | 7/1 ~ 7/31 |
| 3 号炉 | 2, 255. 19 | t / 月 | 7/8 ~ 7/31 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | | |
|---------------|-----------|------|------|---|-----|-----|
| | | | — | ~ | — | ℃ |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1 号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 2 号炉 | 858 | ~ | 899 | ℃ |
| | | 3 号炉 | 865 | ~ | 902 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1 号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 2 号炉 | 195 | ~ | 196 | ℃ |
| | | 3 号炉 | 194 | ~ | 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1 号炉 | — | ~ | — | ppm |
| | | 2 号炉 | 8 | ~ | 14 | ppm |
| | | 3 号炉 | 4 | ~ | 6 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果

令和元年 7 月分

施設名 1 号 炉

排ガス採取年月日 —

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
|-----------------------------|---------------------|------|---|-----|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | — | ～ | — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — | ～ | — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — | ～ | — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — | ～ | — | 430 |

施設名 2 号 炉

排ガス採取年月日 7/1 ～ 7/31

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
|-----------------------------|---------------------|------|---|------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 | ～ | 8 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 | ～ | 66 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 11 | ～ | 25 | 430 |

施設名 3 号 炉

排ガス採取年月日 7/8 ～ 7/31

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
|-----------------------------|---------------------|------|---|------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 | ～ | 8 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 52 | ～ | 56 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 10 | ～ | 15 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 8 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|------|----------|-------|------------|
| | — | t / 月 | |
| 1 号炉 | — | t / 月 | — |
| 2 号炉 | 88.56 | t / 月 | 8/1 ~ 8/2 |
| 3 号炉 | 2,845.77 | t / 月 | 8/1 ~ 8/31 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | | |
|---------------|-----------|------|------|---|-----|-----|
| | | | — | ~ | — | ℃ |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1 号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 2 号炉 | 896 | ~ | 896 | ℃ |
| | | 3 号炉 | 829 | ~ | 906 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1 号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 2 号炉 | 195 | ~ | 195 | ℃ |
| | | 3 号炉 | 194 | ~ | 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1 号炉 | — | ~ | — | ppm |
| | | 2 号炉 | 13 | ~ | 13 | ppm |
| | | 3 号炉 | 4 | ~ | 7 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
令和元年 8 月分

施設名 1 号 炉

| 排ガス採取年月日 | | — | | | |
|-----------------------------|---------------------|------|---|-----|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | — | ～ | — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — | ～ | — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — | ～ | — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — | ～ | — | 430 |

施設名 2 号 炉

| 排ガス採取年月日 | | 8/1 ～ 8/2 | | | |
|-----------------------------|---------------------|-----------|---|------|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 | ～ | 4 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 52 | ～ | 52 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 12 | ～ | 12 | 430 |

施設名 3 号 炉

| 排ガス採取年月日 | | 8/1 ～ 8/31 | | | |
|-----------------------------|---------------------|------------|---|------|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 6 | ～ | 11 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 53 | ～ | 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 9 | ～ | 13 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 9 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|------|----------|-------|-------------|
| | | t / 月 | |
| 1 号炉 | 891.96 | t / 月 | 9/17 ~ 9/30 |
| 2 号炉 | 1,831.38 | t / 月 | 9/2 ~ 9/30 |
| 3 号炉 | 1,195.04 | t / 月 | 9/1 ~ 9/13 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|------|-----------|-----|
| | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1 号炉 | 878 ~ 919 | °C |
| | | 2 号炉 | 852 ~ 900 | °C |
| | | 3 号炉 | 872 ~ 899 | °C |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1 号炉 | 194 ~ 195 | °C |
| | | 2 号炉 | 193 ~ 195 | °C |
| | | 3 号炉 | 195 ~ 195 | °C |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1 号炉 | 10 ~ 16 | ppm |
| | | 2 号炉 | 9 ~ 15 | ppm |
| | | 3 号炉 | 5 ~ 6 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
令和元年9月分

施設名 1号炉

排ガス採取年月日 9/17 ~ 9/30

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 | ~ 7 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 55 | ~ 59 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 23 | ~ 35 | 430 |

施設名 2号炉

排ガス採取年月日 9/2 ~ 9/30

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 | ~ 10 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 52 | ~ 60 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 15 | ~ 40 | 430 |

施設名 3号炉

排ガス採取年月日 9/1 ~ 9/13

排ガス採取位置 煙突入口

| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 |
|-----------------------------|---------------------|------|--------|------|
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 6 | ~ 11 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 53 | ~ 56 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 10 | ~ 14 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年10月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|--------------|
| | | t/月 | |
| 1号炉 | 2,015.50 | t/月 | 10/1 ~ 10/31 |
| 2号炉 | 1,971.27 | t/月 | 10/1 ~ 10/31 |
| 3号炉 | — | t/月 | — |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 867 ~ 919 | °C |
| | | 2号炉 | 864 ~ 902 | °C |
| | | 3号炉 | — ~ — | °C |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 193 ~ 195 | °C |
| | | 2号炉 | 193 ~ 195 | °C |
| | | 3号炉 | — ~ — | °C |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 10 ~ 20 | ppm |
| | | 2号炉 | 7 ~ 11 | ppm |
| | | 3号炉 | — ~ — | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
令和元年10月分

施設名 1号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取年月日 | 10/1 ~ 10/31 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 ~ 12 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 53 ~ 62 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 19 ~ 35 | 430 |

施設名 2号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取年月日 | 10/1 ~ 10/31 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 ~ 11 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 ~ 63 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 22 ~ 35 | 430 |

施設名 3号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------|------|
| 排ガス採取年月日 | — | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | — ~ — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — ~ — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — ~ — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — ~ — | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年 11 月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-------|------------------|
| | kg | t / 月 | |
| 1号炉 | 492.01 | t / 月 | 11/1 ~ 8 |
| 2号炉 | 765.64 | t / 月 | 11/1、19 ~ 30 |
| 3号炉 | 1,685.92 | t / 月 | 11/2 ~ 8、18 ~ 30 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | | | 値 | 単位 |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 880 ~ 909 | °C |
| | | 2号炉 | 876 ~ 902 | °C |
| | | 3号炉 | 847 ~ 922 | °C |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 195 ~ 195 | °C |
| | | 2号炉 | 195 ~ 195 | °C |
| | | 3号炉 | 190 ~ 195 | °C |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 12 ~ 24 | ppm |
| | | 2号炉 | 6 ~ 12 | ppm |
| | | 3号炉 | 2 ~ 11 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
令和元年11月分

施設名 1号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 11/1 ~ 8 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 6 ~ 10 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 52 ~ 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 13 ~ 23 | 430 |

施設名 2号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 11/1、19 ~ 30 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 ~ 7 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 50 ~ 59 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 15 ~ 24 | 430 |

施設名 3号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 11/2 ~ 8、18 ~ 30 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 3 ~ 9 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 50 ~ 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 8 ~ 15 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和元年12月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-------|-----------|
| | — | t / 月 | |
| 1号炉 | — | t / 月 | — |
| 2号炉 | 1,799.77 | t / 月 | 12/1 ~ 29 |
| 3号炉 | 2,599.36 | t / 月 | 12/1 ~ 29 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | | |
|---------------|-----------|-----|------|---|-----|-----|
| | | | — | ～ | — | °C |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | — | ～ | — | °C |
| | | 2号炉 | 873 | ～ | 910 | °C |
| | | 3号炉 | 892 | ～ | 929 | °C |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | — | ～ | — | °C |
| | | 2号炉 | 194 | ～ | 195 | °C |
| | | 3号炉 | 194 | ～ | 195 | °C |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | — | ～ | — | ppm |
| | | 2号炉 | 6 | ～ | 15 | ppm |
| | | 3号炉 | 3 | ～ | 6 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果
令和元年12月分

施設名 1号炉

| 排ガス採取月日 | | — | | | |
|-----------------------------|---------------------|------|---|-----|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | — | ～ | — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — | ～ | — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — | ～ | — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — | ～ | — | 430 |

施設名 2号炉

| 排ガス採取月日 | | 12/1 ～ 29 | | | |
|-----------------------------|---------------------|-----------|---|------|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 | ～ | 9 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 47 | ～ | 60 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 12 | ～ | 26 | 430 |

施設名 3号炉

| 排ガス採取月日 | | 12/1 ～ 29 | | | |
|-----------------------------|---------------------|-----------|---|------|------|
| 排ガス採取位置 | | 煙突入口 | | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | | 規制値 | |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 | ～ | 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 | ～ | 7 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 | ～ | 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 11 | ～ | 15 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和2年1月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|----------|
| | | t/月 | |
| 1号炉 | 1,633.06 | t/月 | 1/6 ~ 31 |
| 2号炉 | — | t/月 | — |
| 3号炉 | 2,323.80 | t/月 | 1/5 ~ 31 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | | |
|---------------|-----------|-----|------|---|-----|-----|
| | | | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 850 | ~ | 917 | ℃ |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 3号炉 | 891 | ~ | 924 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 195 | ~ | 195 | ℃ |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 3号炉 | 194 | ~ | 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 9 | ~ | 20 | ppm |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ppm |
| | | 3号炉 | 2 | ~ | 6 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果

令和2年1月分

施設名 1号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 1/6 ~ 31 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 4 ~ 10 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 48 ~ 55 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 8 ~ 28 | 430 |

施設名 2号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------|------|
| 排ガス採取月日 | — | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | — ~ — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — ~ — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — ~ — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — ~ — | 430 |

施設名 3号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 1/5 ~ 31 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 2 ~ 5 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 ~ 56 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 10 ~ 15 | 430 |

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和2年2月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|----------|
| | | t/月 | |
| 1号炉 | 355.87 | t/月 | 2/1 ~ 6 |
| 2号炉 | — | t/月 | — |
| 3号炉 | 2,558.71 | t/月 | 2/1 ~ 29 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | | | |
|---------------|-----------|-----|------|---|-----|-----|
| | | | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 856 | ~ | 899 | ℃ |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 3号炉 | 877 | ~ | 925 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 195 | ~ | 195 | ℃ |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ℃ |
| | | 3号炉 | 194 | ~ | 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 9 | ~ | 13 | ppm |
| | | 2号炉 | — | ~ | — | ppm |
| | | 3号炉 | 2 | ~ | 5 | ppm |

| | |
|---------------------------|---|
| 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・排ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|---------------------------|---|

排ガス測定結果

令和2年2月分

施設名 1号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 2/1 ~ 6 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 ~ 7 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 51 ~ 55 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 12 ~ 16 | 430 |

施設名 2号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------|------|
| 排ガス採取月日 | — | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | — ~ — | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | — ~ — | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | — ~ — | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | — ~ — | 430 |

施設名 3号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 2/1 ~ 29 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 2 ~ 8 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 48 ~ 56 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 9 ~ 14 | 430 |

※測定結果の値については、連続測定装置による測定値になります。

一般廃棄物処理施設維持管理記録

令和2年3月分

| | 焼却量 | | 焼却日 |
|-----|----------|-----|-----------|
| | | t/月 | |
| 1号炉 | 409.84 | t/月 | 3/25 ~ 31 |
| 2号炉 | 1,709.32 | t/月 | 3/3 ~ 31 |
| 3号炉 | 1,392.51 | t/月 | 3/1 ~ 16 |

| | 測定を行った場所 | 号炉 | 測定結果 | |
|---------------|-----------|-----|-----------|-----|
| | | | | |
| 燃焼ガス温度 | 燃焼室中段 | 1号炉 | 861 ~ 906 | ℃ |
| | | 2号炉 | 828 ~ 900 | ℃ |
| | | 3号炉 | 898 ~ 924 | ℃ |
| 集塵器 入口ガス温度 | バグフィルター入口 | 1号炉 | 192 ~ 195 | ℃ |
| | | 2号炉 | 192 ~ 197 | ℃ |
| | | 3号炉 | 195 ~ 195 | ℃ |
| CO濃度 | 煙突入口 | 1号炉 | 9 ~ 21 | ppm |
| | | 2号炉 | 9 ~ 18 | ppm |
| | | 3号炉 | 2 ~ 4 | ppm |

| | |
|----------------------------|--|
| 冷却設備及び燃焼ガス処理設備に堆積したばいじんの除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・燃焼ガス冷却設備の除塵はスートブロー噴霧により運転中毎日実施。 ・ろ過式集塵器の除塵は圧縮空気により運転中毎日実施。 |
|----------------------------|--|

排ガス測定結果

令和2年3月分

施設名 1号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 3/26 ~31 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 5 ~ 9 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 57 ~ 60 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 21 ~ 40 | 430 |

施設名 2号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 3/4 ~29 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 1 ~ 13 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 40 ~ 58 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 9 ~ 33 | 430 |

施設名 3号炉

| | | | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|------|
| 排ガス採取月日 | 3/1 ~15 | | |
| 排ガス採取位置 | 煙突入口 | | |
| 測定結果 | | 測定結果 | 規制値 |
| ばいじん | g / Nm ³ | 0.00 ~ 0.00 | 0.08 |
| 硫黄酸化物 (SO _x) | ppm | 1 ~ 4 | 1900 |
| 窒素酸化物 (NO _x) | ppm | 50 ~ 54 | 250 |
| 塩化水素 (HCl) | ppm | 11 ~ 14 | 430 |

※測定結果の値については、連続測定装置による測定値になります。

印西クリーンセンター維持管理に関する計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第5項（維持管理に関する計画）による印西クリーンセンターの維持管理は以下のとおり計画します。

- 1 施設へのごみの投入は、当該施設の処理能力を超えないように行います。
- 2 ピット・クレーン方式によって燃焼室にごみを投入する場合は、常時ごみを攪拌します。
- 3 燃焼室へのごみの投入は、定量ずつ連続的に行います。
- 4 燃焼室中の燃焼ガスの温度を摂氏800度以上に保ちごみを焼却します。
- 5 焼却灰の熱灼減量が10%以下になるように焼却します。
- 6 運転を開始する場合は、助燃装置等を作動させ、炉温の上昇曲線に沿って速やかに上昇させます。
- 7 運転を停止する場合は、助燃装置等を作動させ、炉温の下降曲線に沿ってごみを燃焼し尽くします。
- 8 燃焼室中の燃焼ガスの温度を連続的に測定し、かつ、記録します。
- 9 バグフィルターに流入する燃焼ガスの温度を概ね摂氏200度以下に冷却します。
- 10 バグフィルターに流入する燃焼ガスの温度を連続的に測定し、かつ、記録します。
- 11 排ガス処理設備等に堆積したばいじんを除去します。
- 12 排ガス中の一酸化炭素の濃度を100ppm（O₂12%換算）以下となるようにごみを焼却します。
- 13 排ガス中の一酸化炭素の濃度を連続的に測定し、かつ、記録します。
- 14 排ガス中のダイオキシン類の濃度を1ng-TEQ/N m³（1，2号炉）、0.5ng-TEQ/N m³（3号炉）以下となるようにごみを焼却します。
- 15 排ガス中のダイオキシン類の濃度を毎年一回以上、ばい煙濃度（ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素）を毎年二回以上測定し、かつ、記録します。
- 16 排ガスによる生活環境保全上の支障が生じないようにします。
- 17 ばいじん（飛灰）と主灰は分離して、貯留します。
- 18 ばいじん（飛灰）の薬剤処理を行う場合は、ばいじんと薬剤を均一に混合します。
- 19 火災の発生を防止するために必要な措置を講ずると共に、消火設備を備えます。

印 西 ク リ ー ン セ ン タ ー

緊 急 時 対 応 マ ニ ュ ア ル

平 成 27 年 4 月

印 西 地 区 環 境 整 備 事 業 組 合

目 次

| | | |
|----|----------------------|----|
| 1 | 緊急時対応マニュアルの目的等 | 1 |
| 2 | 緊急連絡体制..... | 2 |
| 3 | 地震発生時の対応 | 3 |
| 4 | 爆発事故発生時の対応 | 4 |
| 5 | 火災発生時の対応 | 5 |
| 6 | 断水時・ガス停止の対応 | 6 |
| 7 | 灯油配管破損時・停電の対応 | 7 |
| 8 | ガス漏洩・薬品流出の対応 | 8 |
| 9 | その他異常時の対応..... | 9 |
| 10 | 事故別対応指示者 | 10 |
| 11 | 設備別事故対応方法 | 11 |
| 12 | 事故の経過・報告・届出 | 12 |
| 13 | 事故完了報告 | 13 |
| 14 | 教育・訓練の評価 | 14 |

1 緊急時対応マニュアルの目的

廃棄物処理施設においては、廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)に基づき、施設の維持管理及び安全管理に努めることが必要である。

また、労働安全衛生法、消防法、電気事業法等に基づき、日常の運転管理及び保守管理、災害時の緊急対応、設備の維持管理及び運用に関する保安の確保等、施設の安全な操業に努めることを目的とする。

2 緊急連絡体制

異常が発生した場合の連絡体制フロー及び関係機関連絡電話番号を設定した。

3 想定した事態

想定した事態としては、地震発生時、爆発発生時、火災発生時、断水時、ガス停止時、灯油配管破損等、停電時、ガス漏洩、薬品流出、その他異常時などの事態とする。

4 事故別対応指示者

事故の種類として、火災・爆発、電気事故、ガス漏洩、有毒ガス等発生、薬品等流出、設備異常等に応じた対応指示者を選定した。

5 設備別事故対応方法

設備の種類として、受入・供給、燃焼、燃焼ガス冷却、排ガス処理、通風、給水、排水処理、電気、計装に分けた想定される事故対応を選定した。

6 事故の経過・報告・届出

事故の種類に応じた経過・報告・届出先を設定した。

7 事故完了報告

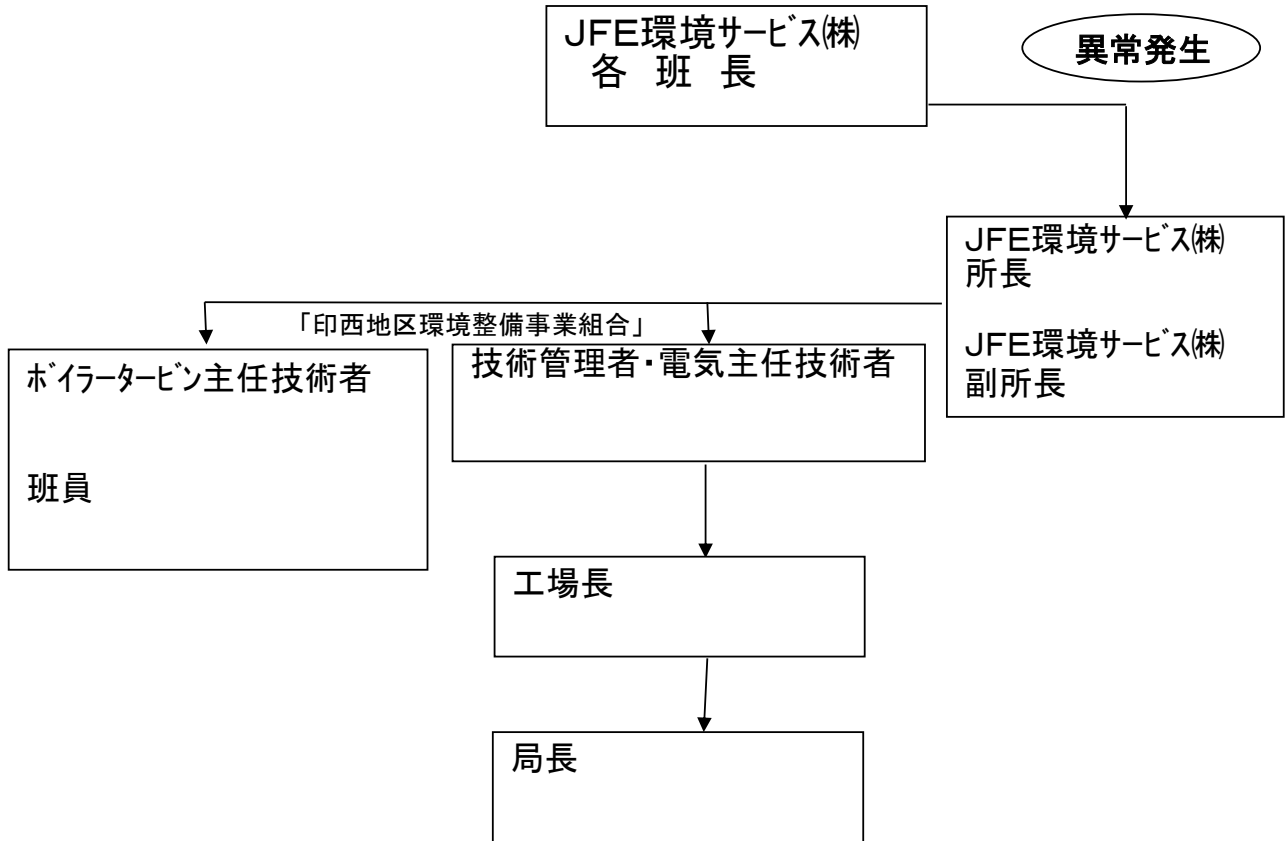
原因究明及び再発防止のための資料として、記録の保存について定め、同じ過ちを二度と起こさない。

8 教育・訓練の評価

種類別の教育・訓練方法及び評価者について定め、事故を未然に防ぐ。

* 個人情報により無記名

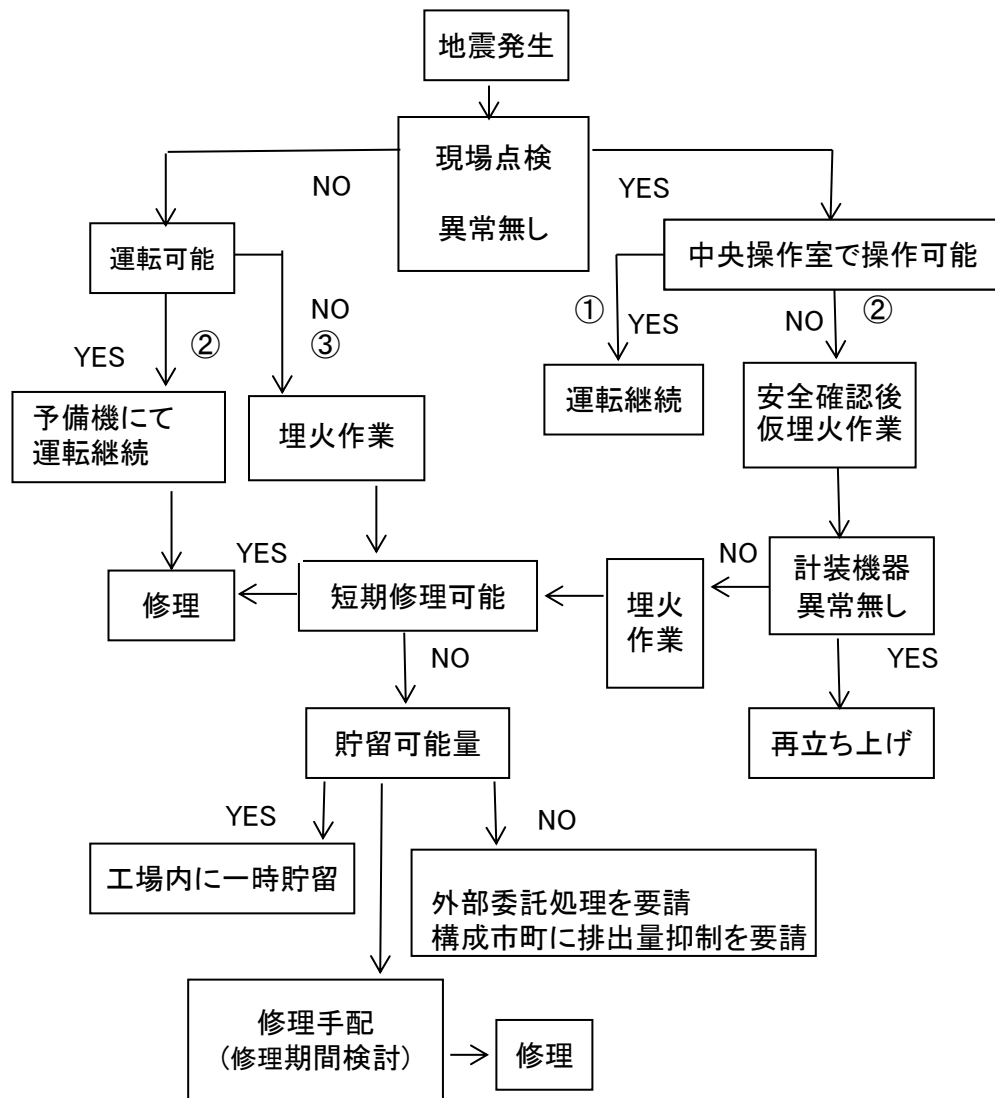
印西クリーンセンター 緊急連絡体制



| | | |
|----------------------|---------|-------|
| 印西地区環境整備事業組合 | 46-2733 | |
| JFE環境サービス(株) | 46-1279 | 内線353 |
| JFEエンジニアリング(株)(倉庫2F) | 47-1335 | 内線380 |
| 中央制御室 | 46-2735 | 内線333 |

| | |
|--------------------|----------------------|
| ○県印旛地域振興事務所地域環境保全課 | 043-483-1138 |
| ○印西警察署 | 42-0110 |
| ○印西地区消防組合 | 46-4321 |
| ○印西西消防署 | 46-0119 |
| ○関東東北産業保安監督部電力安全課 | 048-600-0391 |
| ○東京電力(株) | 55-5212 |
| ○関東電気保安協会 | 043-424-8211 |
| ○温水センター | 47-1661 |
| ○千葉ニュータウンセンター(熱供給) | 事務所46-5612 工場47-2547 |
| ○日本医科大学 千葉北総病院 | 99-1111(代表) |
| ○成田労働基準監督署 | 22-5666 |

地震発生時の対応



①: 軽度→技術管理者は口頭により工場長へ報告する。

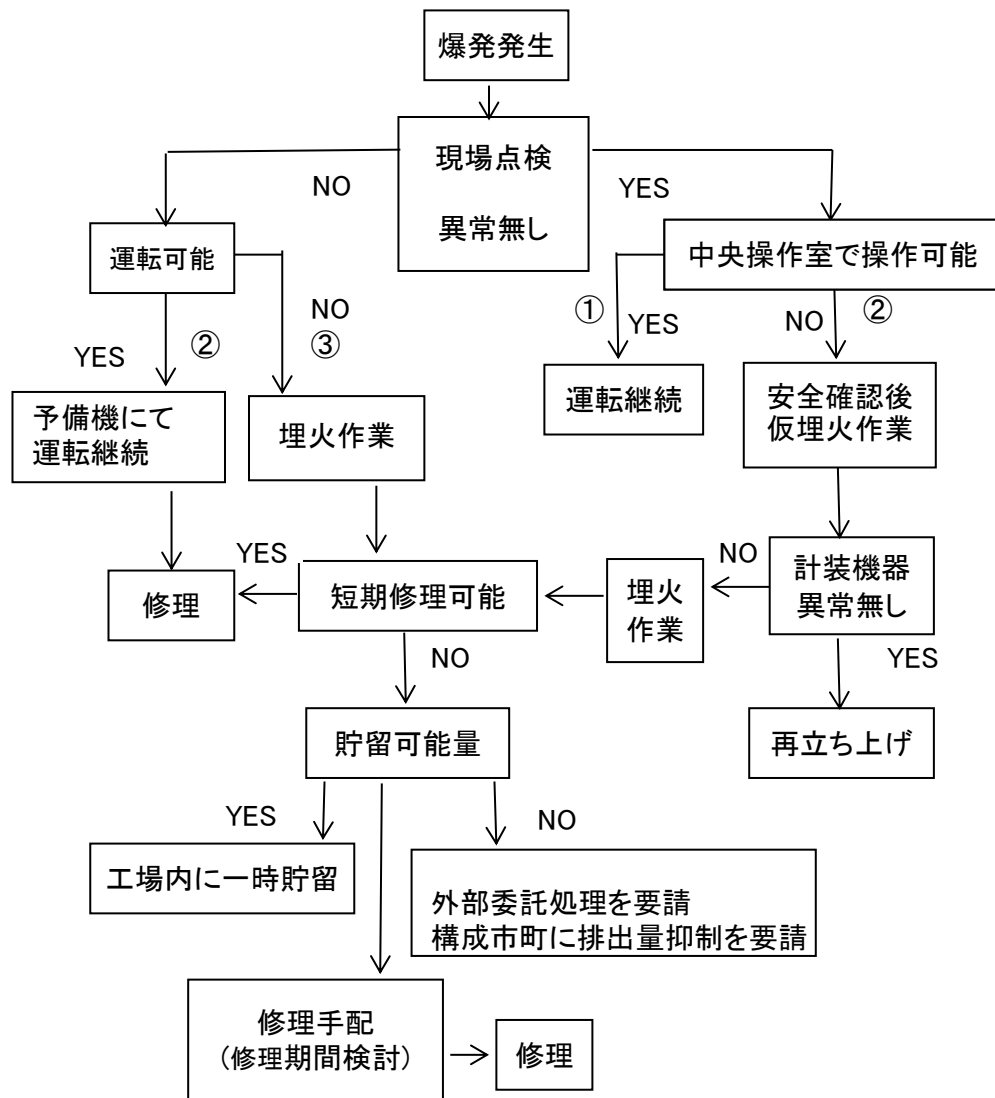
②: 中度→技術管理者は「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、必要に応じ修理を手配する。

③: 重度→技術管理者は「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、修理及び貯留可能量を口超えた場合の手配を行う。

仮埋火作業: ゴミ焼却を一時停止

埋火作業: 焼却炉を降温

爆発発生時の対応



①: 軽度→技術管理者は防火管理者の指示の下、口頭により工場長へ報告する。

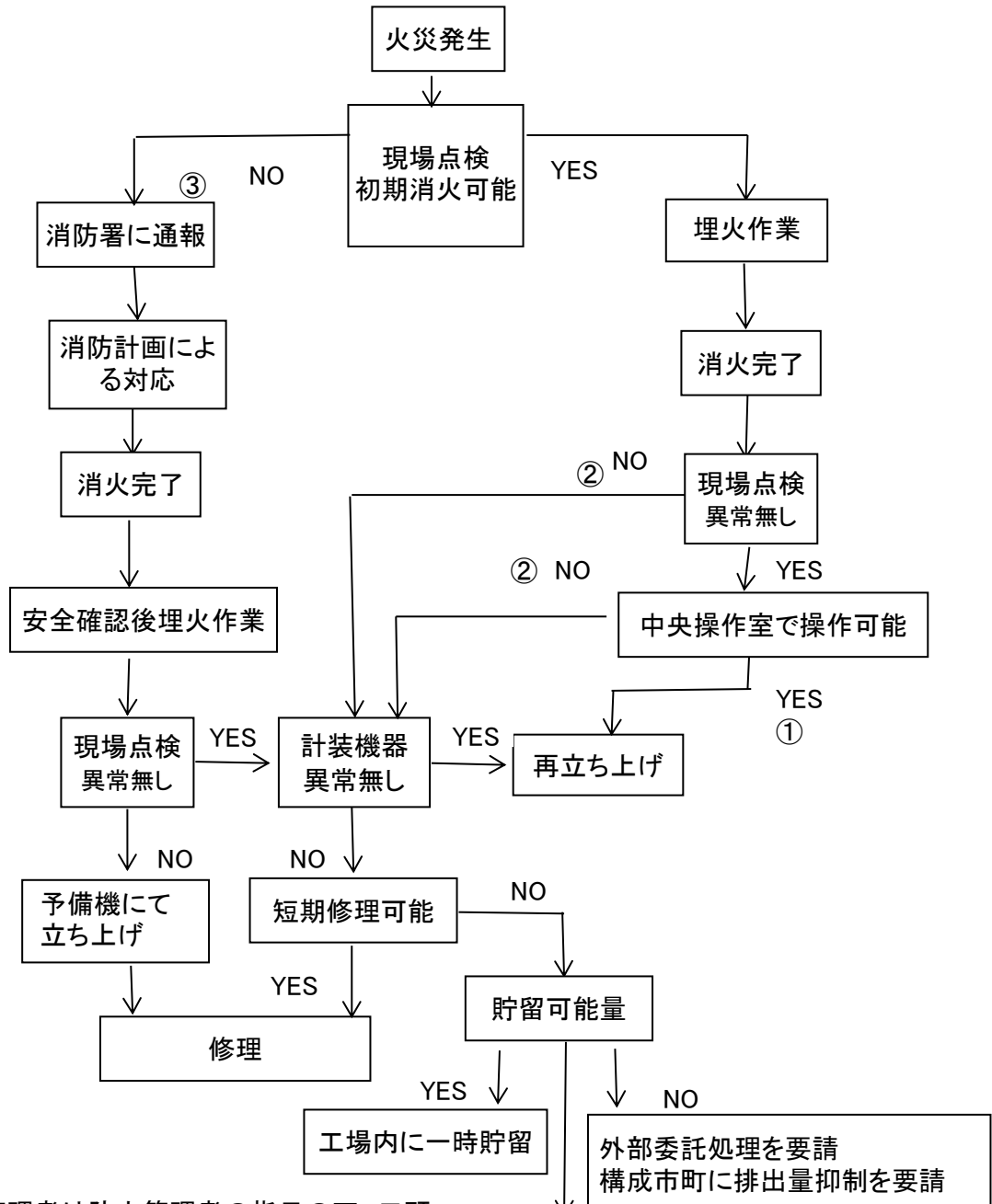
②: 中度→技術管理者は防火管理者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、必要に応じ修理を手配する。

③: 重度→技術管理者は防火管理者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、修理及び貯留可能量を超えた場合の手配を行う。

仮埋火作業: ごみ焼却を一時停止

埋火作業: 焼却炉を降温

火災発生時の対応

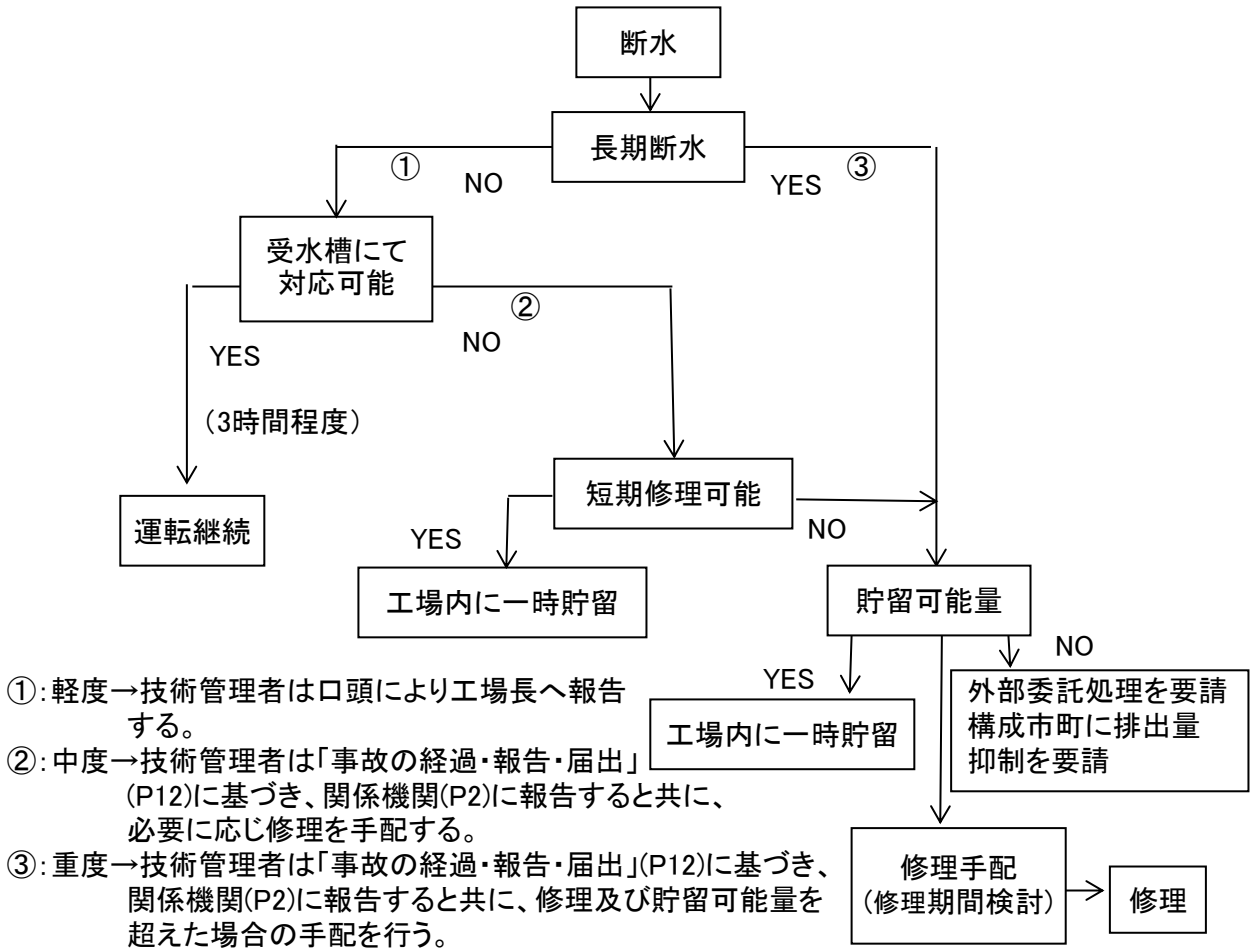


①: 軽度→技術管理者は防火管理者の指示の下、口頭により工場長へ報告する。

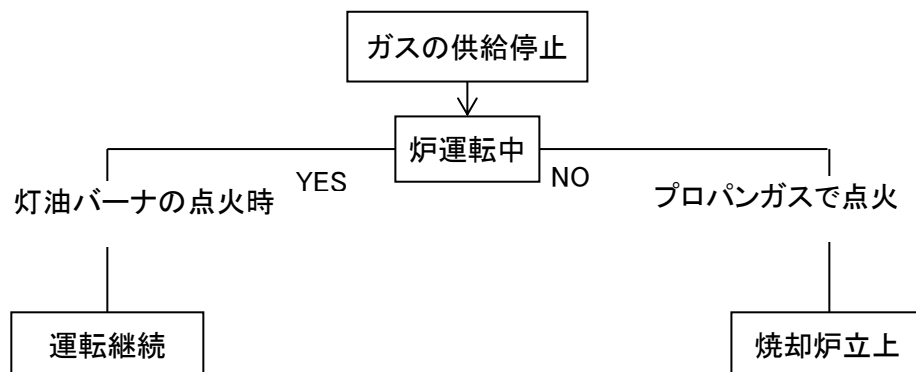
②: 中度→技術管理者は防火管理者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、必要に応じ修理を手配する。

③: 重度→技術管理者は防火管理者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、修理及び貯留可能量を超えた場合の手配を行う。

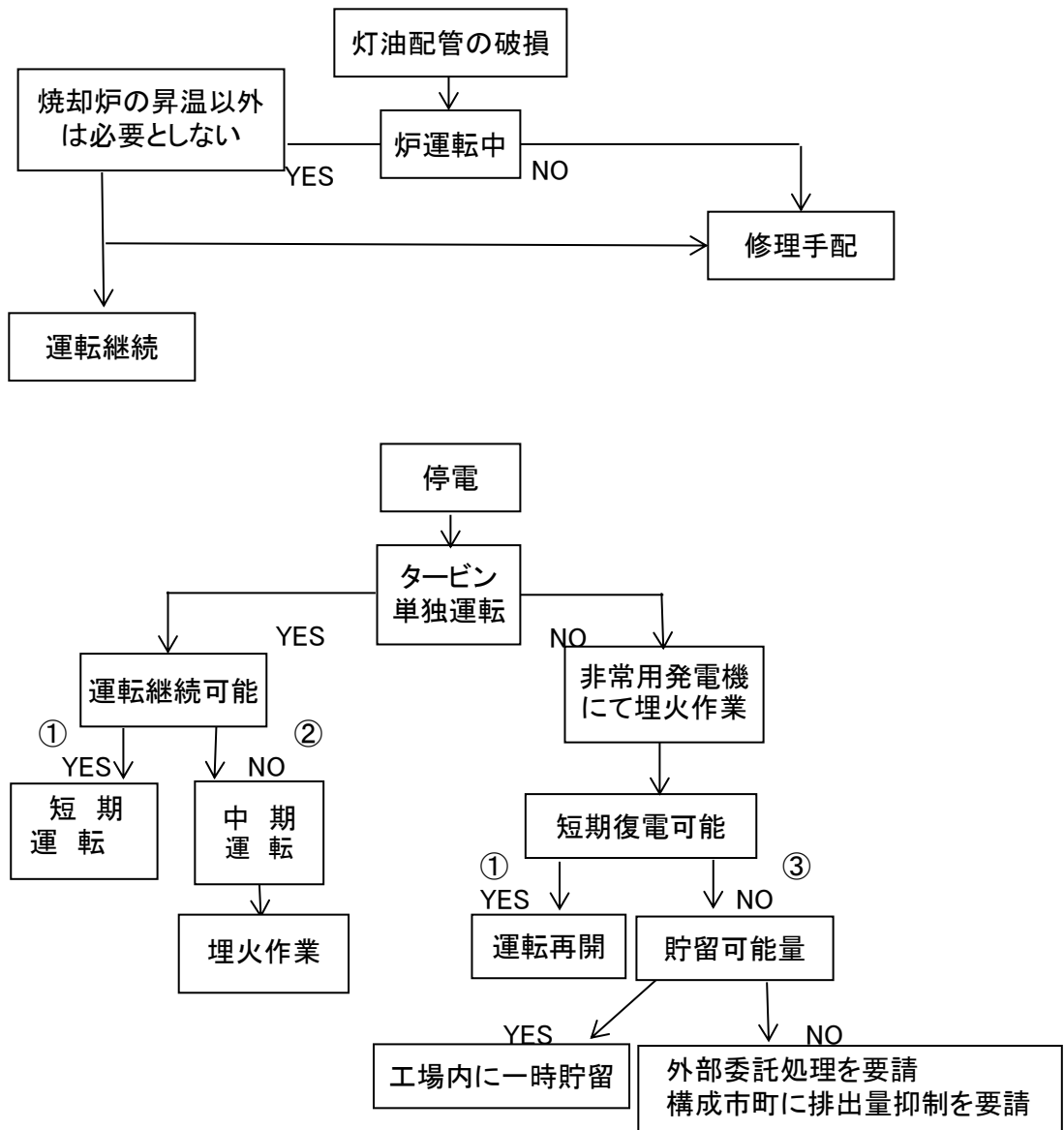
断水時の対応



ガス停止時の対応



灯油配管破損時・停電の対応

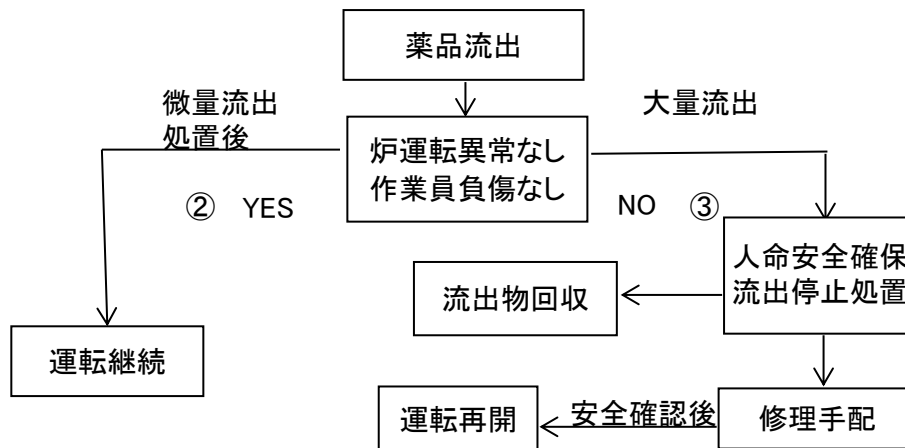
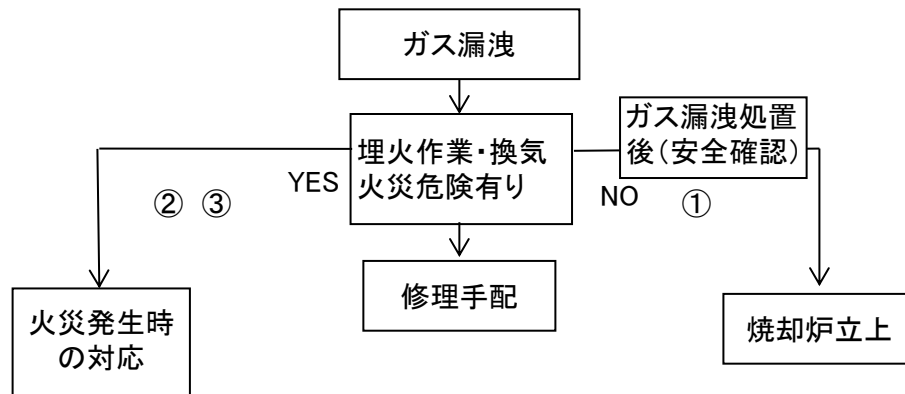


①: 軽度→技術管理者は電気主任技術者の指示の下、口頭により工場長へ報告する。

②: 中度→技術管理者は電気主任技術者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、必要に応じ修理を手配する。

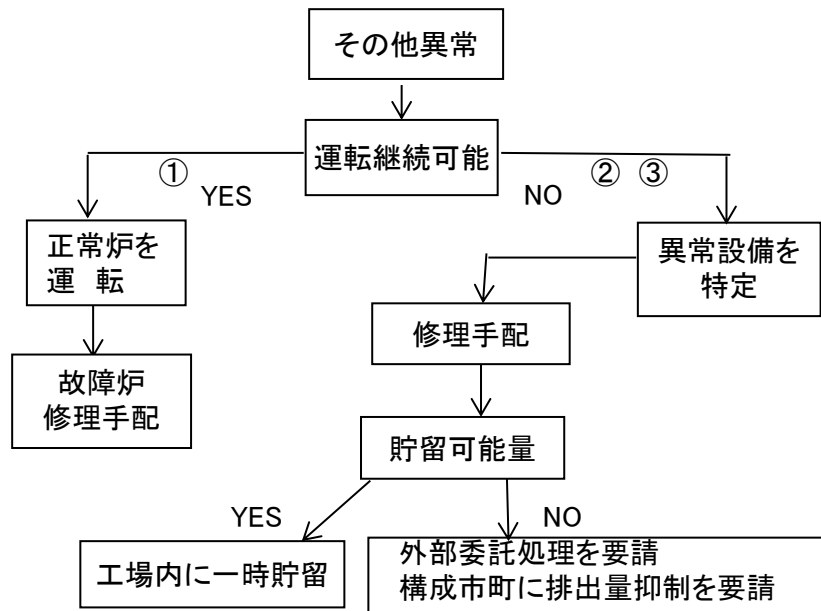
③: 重度→技術管理者は電気主任技術者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、修理及び貯留可能量を超えた場合の手配を行う。

ガス漏洩・薬品流出・その他異常時の対応



- ①: 軽度→技術管理者は特定化学物質等取扱者の指示の下、口頭により工場長へ報告する。
- ②: 中度→技術管理者は特定化学物質等取扱者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、処置の手配をする。
- ③: 重度→技術管理者は特定化学物質等取扱者の指示の下、「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、人命の確保及び修理の手配を行う。

その他異常時の対応



- ①: 軽度→技術管理者は口頭により工場長へ報告する。
- ②: 中度→技術管理者は「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、必要に応じ修理を手配する。
- ③: 重度→技術管理者は「事故の経過・報告・届出」(P12)に基づき、関係機関(P2)に報告すると共に、修理及び貯留可能量を超えた場合の手配を行う。

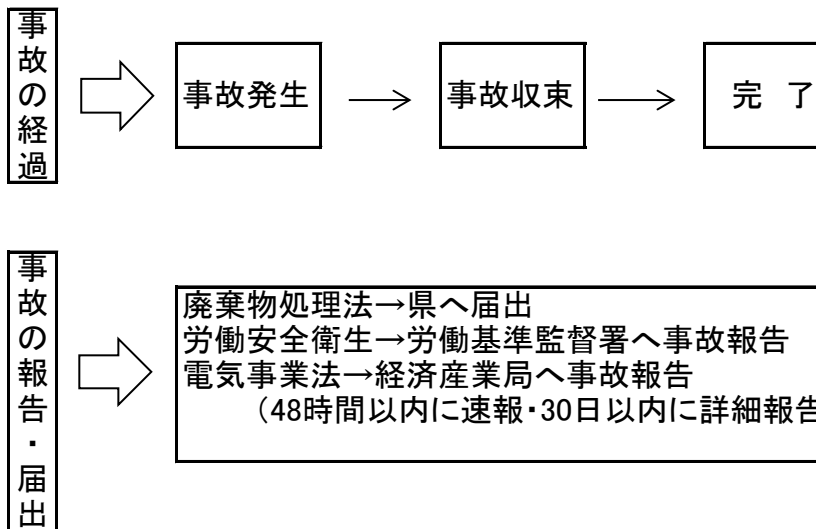
事故別対応指示者

| 事故の種類 | 事故別対応指示者 |
|---------|------------------------|
| 火災・爆発 | 防火管理者 |
| 電気事故 | 電気主任技術者　ボイラー・タービン主任技術者 |
| ガス漏洩 | 特定化学物質等取扱者 |
| 有毒ガス等発生 | 特定化学物質等取扱者 |
| 薬品等流出 | 特定化学物質等取扱者 |
| 設備異常等 | 廃棄物処理施設技術管理者 |

設備別事故対応方法

| 設備名 | 想定される異状 | 想定される事故 | 対 応 |
|--------|--------------|-------------|------------|
| 受入・供給 | ピット内の発火 | ピット内火災 | 火災時の対応 |
| | プラットフォームでの発火 | ごみの火災 | 火災時の対応 |
| 燃 焼 | ごみホップブリッジ | 逆火によるピット内火災 | 火災時の対応 |
| | 危険物タンク、管の破損 | 危険物漏洩 | 灯油配管破損時の対応 |
| 燃焼ガス冷却 | ボイラ安全弁動作 | 蒸気噴出 | 運転マニュアル |
| 排ガス処理 | 設備の故障 | 排ガス異常 | その他異常時の対応 |
| | 薬品タンク、管の破損 | 薬品漏洩 | 薬品流出時の対応 |
| 通 風 | 煙道の破損 | 燃焼ガス漏洩 | ガス漏洩時の対応 |
| 給 水 | 断水 | 水不足 | 断水時の対応 |
| 排水処理 | 設備の故障 | 薬品漏洩 | 薬品流出時の対応 |
| | 薬品タンク、管の破損 | 薬品漏洩 | 薬品流出時の対応 |
| 電 気 | 停電 | 設備停止 | 停電時の対応 |
| 計 装 | 制御不能 | 設備停止 | その他異常時の対応 |

事故の経過・報告・届出



・ 届出の義務

廃棄物処理法第21条の2(事故時の措置)に定める届出の義務が生じる場合は、事故が発生し、施設周辺に廃棄物、汚水等が散乱、流出することにより、生活環境の保全上の支障が生じ、又は生ずるおそれがある場合をいう。

直ちに、その支障の除去及び応急の措置を講ずるとともに、速やかにその事故の状況及び講じた措置の概要を県に届け出なければならない。

事故完了報告

作成日:〇〇年〇〇月〇〇日

| |
|---|
| 1 施設管理者名及び施設の住所 1)施設名: 2)施設管理者名: 3)施設の住所: 4)電話番号: |
| 2 事故発生施設の種類: ・一般廃棄物処理施設: |
| 3 施設規模 t/日 |
| 4 事故の種類: |
| 5 発生日時: 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇時〇〇分 |
| 6 事故発生設備 (場所) |
| 7 事故の状況(具体的な状況): |
| 8 事故原因: |
| 9 防災設備等の設置状況と事故時の作動状況: |
| 10 防止対策: |
| 11 周辺環境調査結果: |
| 12 その他 |
| 13 報告者・記入者 氏名: 所属: |

教育・訓練の評価

| 種 類 | 責 任 者 | 訓練方法 | 評 価 者 |
|-----------------------|---------------|--|---------------|
| 消防計画 に基づく 消防訓練 | 防火管理者 | 防火管理者 指揮のもと 消防訓練を 行う。 | 防火管理者 消防署長 |
| 保安規定 に基づく 教育・訓練 | B・T主任 電気主任 | 電気工作物の 工事、維持運用に 従事する者に 必要に応じて 指導訓練を行う。 | 工場長 所長 |
| 安全衛生 に基づく 教育・訓練 | 各課長 | 設備の法定点検 を行う。 | 安全衛生委員会委員 |
| 資格取得 に基づく 教育・訓練 | B・T主任 電気主任 | 資格取得に向 けた教育を 行う。 | 工場長 所長 |

過去の事件事例等によって、事故を未然に防ぐような教育・訓練を行う。